

第5章 対象事業に係る環境影響評価の結果

5.1 大気環境	5-1-1
5.2 水環境	5-2-1
5.3 土壌環境	5-3-1
5.4 動物	5-4-1
5.5 植物	5-5-1
5.6 生態系	5-6-1
5.7 景観	5-7-1
5.8 人と自然との触れ合いの活動の場	5-8-1
5.9 地球環境	5-9-1
5.10 日影及び光害	5-10-1
5.11 電波障害	5-11-1
5.12 その他	5-12-1

第5章 対象事業に係る環境影響評価の結果

5.1 大気環境

1. 大気質

1-1. 既存資料調査

(1) 調査項目

- ①地上気象の状況（風向・風速）
- ②大気質の状況（二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質）
- ③交通量等の状況

(2) 調査地域

対象事業実施区域及びその周辺

(3) 調査地点

- ①地上気象の状況
 - ・天竜地域気象観測所
 - ・浜松特別地域気象観測所
- ②大気質の状況
 - ・北部測定局（一般環境大気測定局）
 - ・東北部測定局（一般環境大気測定局）
 - ・浜北測定局（一般環境大気測定局）

(4) 調査期間

- ①地上気象の状況
 - 平成 27 年度の 1 年間
- ②大気質の状況
 - 平成 23 年度～27 年度の 5 年間
- ③交通量等の状況
 - 平成 17 年及び平成 22 年度

(5) 調査方法

- ①地上気象の状況
 - 天竜地域気象観測所及び浜松特別地域気象観測所におけるデータの収集・整理によった。
- ②大気質の状況
 - 静岡県及び浜松市の調査資料の収集、整理によった。
- ③交通量等の状況
 - 静岡県及び浜松市の調査資料の収集、整理によった。

(6) 調査結果

①地上気象の状況

各観測所の観測結果は、表 5-1-1 に示すとおりである。

天竜地域気象観測所では、平均風速は 1.7～2.7m/s、最多風向は NNW（北北西）、最大風速は 12 月の 12.4m/s であった。平均気温は 6.3～26.4℃、最高気温は 7 月の 37.4℃、最低気温は 1 月の -4.2℃であった。降水量は 9 月の 601.5 mm が最も多かった。

浜松特別地域気象観測所では、平均風速は 2.8～4.3m/s、最多風向は WNW（西北西）、最大風速は 12 月の 13.7m/s であった。平均気温は 7.0～27.5℃、最高気温は 7 月の 37.2℃、最低気温は 1 月の -3.7℃であった。降水量は 9 月の 686.5 mm が最も多かった。

表 5-1-1(1) 地上気象観測結果（天竜地域気象観測所）

		風向・風速				気温			降水量 (月合計) (mm)
		平均 風速 (m/s)	最多 風向 (16方位)	最大		平均 (°C)	最高 (°C)	最低 (°C)	
				風速 (m/s)	風向 (16方位)				
平成 27年	4月	2.0	NNW	7.5	NNW	14.5	26.3	6.1	250.5
	5月	2.1	NNW	7.6	NNW	19.7	33.4	11.9	154.0
	6月	1.8	NNW	10.3	NNW	21.4	30.2	13.9	146.0
	7月	1.7	NNW	6.3	NW	24.7	37.4	18.3	529.5
	8月	1.8	NNW	5.4	N	26.4	35.2	20.8	208.5
	9月	2.0	NNW	6.5	NNW	22.1	31.6	15.9	601.5
	10月	2.5	NNW	8.6	NNW	18.1	27.8	9.9	85.0
	11月	2.1	NNW	8.7	NNW	14.6	23.5	3.8	126.5
	12月	2.6	NNW	12.4	NNW	9.7	22.3	-1.4	93.5
平成 28年	1月	2.4	NNW	10.7	NNW	6.3	18.2	-4.2	78.0
	2月	2.7	NNW	10.1	NNW	6.9	18.6	-2.2	140.0
	3月	2.6	NNW	9.5	NNW	10.2	23.3	-1.2	186.5

出典:「気象統計情報」(気象庁ホームページ)

表 5-1-1(2) 地上気象観測結果（浜松特別地域気象観測所）

		風向・風速				気温			降水量 (月合計) (mm)
		平均 風速 (m/s)	最多 風向 (16方位)	最大		平均 (°C)	最高 (°C)	最低 (°C)	
				風速 (m/s)	風向 (16方位)				
平成 27年	4月	3.1	ENE	9.9	W	15.5	25.4	6.3	181.5
	5月	3.1	SSW	9.7	NW	20.5	31.8	13.3	144.5
	6月	3.3	E	10.7	WNW	21.8	30.2	13.9	176.0
	7月	2.9	WSW	9.8	ESE	25.6	37.2	18.6	363.5
	8月	2.8	SW	10.3	E	27.5	35.8	20.4	238.0
	9月	2.8	ENE	12.8	ENE	23.3	32.2	17.5	686.5
	10月	3.3	WNW	13.4	SSW	19.3	28.2	10.8	119.5
	11月	2.8	WNW	10.5	WNW	15.5	24.2	6.4	129.5
	12月	3.7	WNW	13.7	SSW	10.7	23.2	1.0	84.5
平成 28年	1月	4.3	WNW	12.5	WNW	7.0	17.0	-3.7	64.0
	2月	4.0	WNW	11.3	WNW	7.7	18.6	-2.2	105.5
	3月	3.2	WNW	10.5	WNW	11.3	23.1	0.7	220.5

出典:「気象統計情報」(気象庁ホームページ)

②大気質の状況

a 二酸化硫黄

二酸化硫黄の調査結果は、表 5-1-2 及び図 5-1-1 に示すとおりである。

各測定局の年平均値は 0.001~0.004ppm、日平均値の 2%除外値は 0.002~0.006ppm を示し、各測定局で環境基準値（日平均値 0.04ppm、1 時間値 0.1ppm）を下回っていた。

表 5-1-2 二酸化硫黄調査結果（平成 23 年度～平成 27 年度）

単位：ppm

測定局	項目	年度				
		23	24	25	26	27
北部測定局	年平均値	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001
	日平均値の 2%除外値	0.005	0.005	0.002	0.002	0.002
東北部測定局	年平均値	-	-	-	-	-
	日平均値の 2%除外値	-	-	-	-	-
浜北測定局	年平均値	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003
	日平均値の 2%除外値	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006

出典：「大気汚染及び水質汚濁等の状況」（平成23年度～平成27年度 静岡県）

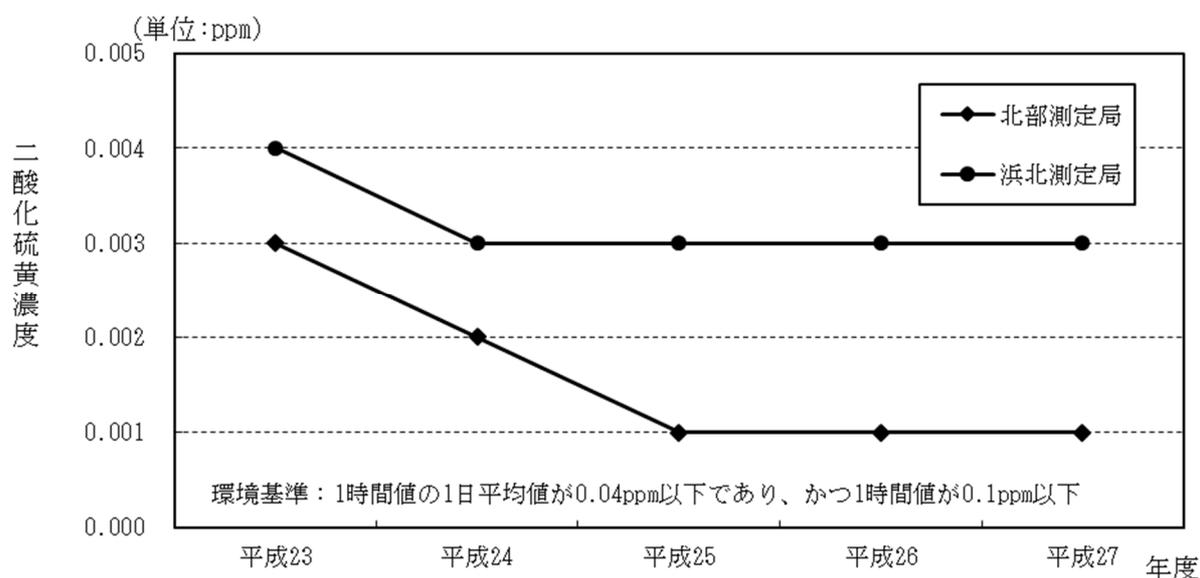


図 5-1-1 二酸化硫黄調査結果（平成 23 年度～平成 27 年度）

b 二酸化窒素

二酸化窒素の調査結果は、表 5-1-3 及び図 5-1-2 に示すとおりである。

各測定局の年平均値は 0.006～0.013ppm、日平均値の年間 98% 値は 0.013～0.027ppm を示し、各測定局で環境基準値（日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下）を下回っていた。

表 5-1-3 二酸化窒素調査結果（平成 23 年度～平成 27 年度）

単位：ppm

測定局	項目	年度				
		23	24	25	26	27
北部測定局	年平均値	0.013	0.010	0.009	0.009	0.009
	日平均値の年間98%値	0.027	0.023	0.023	0.022	0.020
東北部測定局	年平均値	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006
	日平均値の年間98%値	0.018	0.016	0.017	0.016	0.015
浜北測定局	年平均値	0.006	0.007	0.007	0.006	0.006
	日平均値の年間98%値	0.015	0.014	0.015	0.014	0.013

出典：「大気汚染及び水質汚濁等の状況」（平成23年度～平成27年度 静岡県）

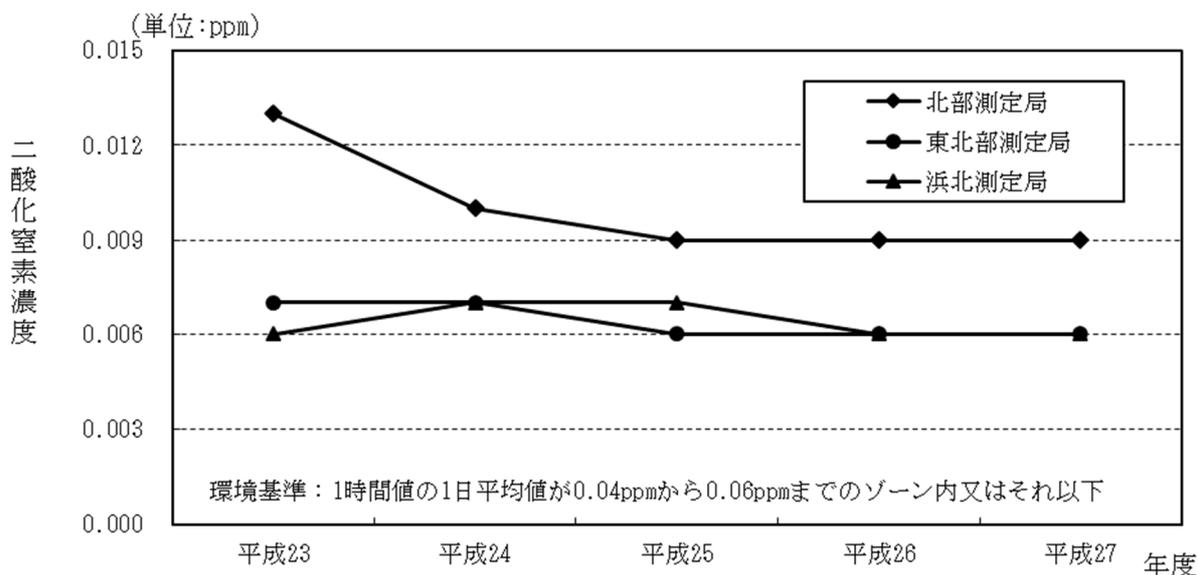


図 5-1-2 二酸化窒素調査結果（平成 23 年度～平成 27 年度）

c 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の調査結果は、表 5-1-4 及び図 5-1-3 に示すとおりである。

各測定局の年平均値は 0.016～0.018 mg/m³、日平均値の 2% 除外値は 0.041～0.055 mg/m³ を示し、各測定局で環境基準値（日平均値 0.10mg/m³、1 時間値 0.20mg/m³）を下回っていた。

表 5-1-4 浮遊粒子状物質調査結果（平成 23 年度～平成 27 年度）

単位：mg/m³

測定局	項目	年度				
		23	24	25	26	27
北部測定局	年平均値	0.018	0.017	0.018	0.018	0.018
	日平均値の 2% 除外値	0.045	0.045	0.055	0.048	0.050
東北部測定局	年平均値	0.016	-	-	-	-
	日平均値の 2% 除外値	0.044	-	-	-	-
浜北測定局	年平均値	0.018	0.016	0.018	0.018	0.016
	日平均値の 2% 除外値	0.046	0.041	0.050	0.050	0.043

出典：「大気汚染及び水質汚濁等の状況」（平成23年度～平成27年度 静岡県）

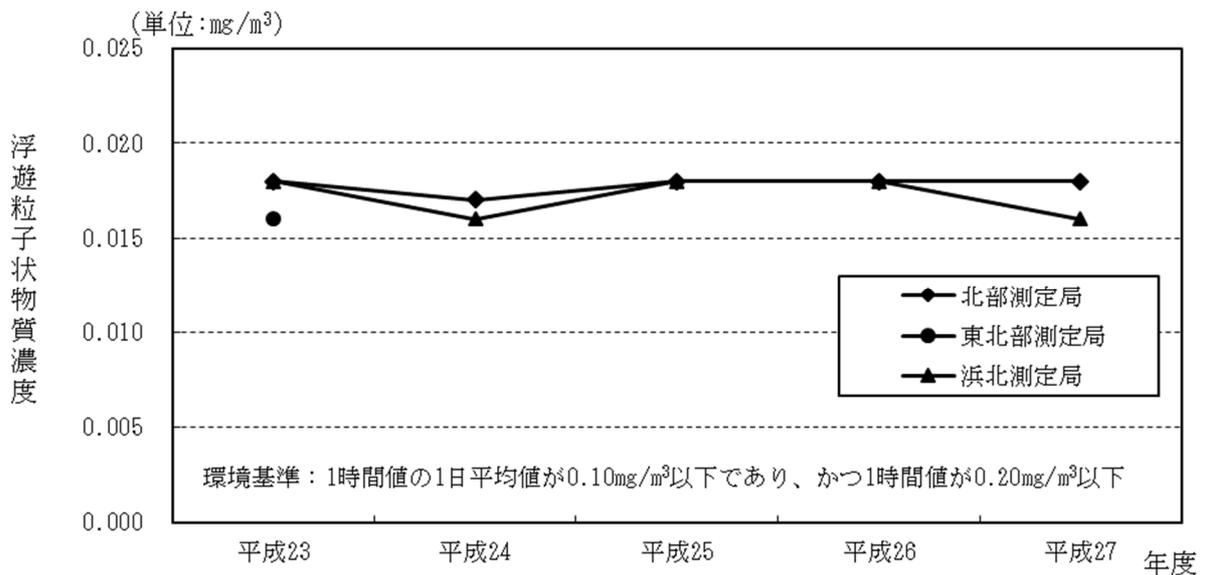


図 5-1-3 浮遊粒子状物質調査結果（平成 23 年度～平成 27 年度）

d 微小粒子状物質

微小粒子状物質の調査結果は、表 5-1-5 及び図 5-1-4 に示すとおりである。

各測定局の年平均値※は、10.4～13.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ と環境基準値（年平均値 15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下）を下回った。各測定局の日平均値の年間98％値※は、27.5～37.9ppm を示し、平成 27 年度調査結果を除き環境基準値（日平均値 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下）を上回った。

表 5-1-5 微小粒子状物質調査結果（平成 23 年度～平成 27 年度）

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

測定局	項目	年度				
		23	24	25	26	27
北部測定局	年平均値	-	(12.1)	13.1	12.5	10.4
	日平均値の年間98％値	-	(30.0)	35.1	36.3	27.5
東北部測定局	年平均値	-	-	-	-	-
	日平均値の年間98％値	-	-	-	-	-
浜北測定局	年平均値	-	-	(14.4)	12.9	12.1
	日平均値の年間98％値	-	-	(31.0)	37.9	30.4

出典：「大気汚染及び水質汚濁等の状況」（平成23年度～平成27年度 静岡県）

注）括弧数字は有効測定時間（250日）未満であることを示す。

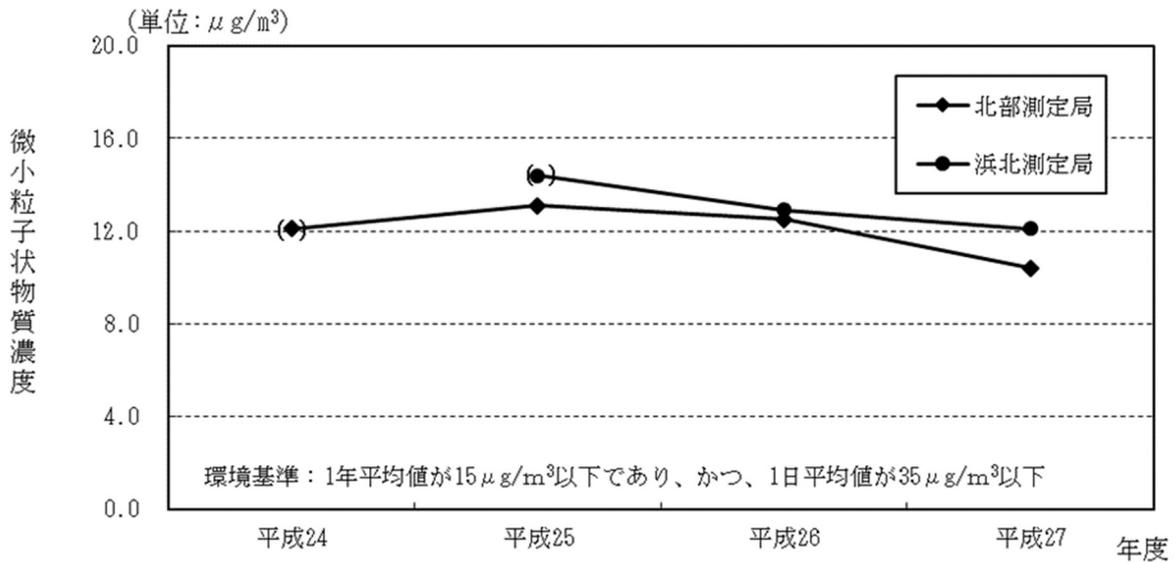


図 5-1-4 微小粒子状物質調査結果（平成 23 年度～平成 27 年度）

※：有効測定時間（250日）未満の測定値を除く。

③交通量等の状況

対象事業実施区域周辺の一般国道 362 号、主要地方道天竜東栄線及び一般県道熊小松天竜川停車場線の平成 17 年度と 22 年度の交通量調査結果は、表 5-1-6 に示すとおりである。

12 時間交通量は、平成 17 年度と比べると一般国道 362 号は 368 台増加し、主要地方道天竜東栄線は 250 台減少した。一般県道熊小松天竜川停車場線は、18 台減少と微減であった。24 時間交通量は、平成 17 年度と比べると一般国道 362 号は 10 台減少と微減であった。

工事中の工事用車両や供用時の施設関連車両が走行する幹線道路の経年変化は、ほぼ横這いである。

表 5-1-6 交通量調査結果

No.	路線名	平日 12時間交通量 (台)		平日 24時間交通量 (台)	
		平成17年度	平成22年度	平成17年度	平成22年度
4	一般国道362号	8,436	8,804	10,602	10,592
7	主要地方道天竜東栄線	3,299	3,049	4,190	3,872
10	一般県道熊小松天竜川停車場線	199	181	245	230

出典：「平成22年度 一般交通量調査報告書」（静岡県）

注1) 斜体で示した交通量は、過年度調査からの推定値で示された数値である。

注2) 表中のNo.は、「図2-3-4 主要な道路網及び自動車交通量調査地点」に対応する。

「第2章 対象事業実施区域及びその周辺の概況 2.3地域の社会的状況に係る項目 5.交通」参照

1-2. 現地調査

1-2-1. 一般大気

(1) 調査項目

①大気質の状況

二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん、その他の有害物質（塩化水素、水銀、ダイオキシン類、微小粒子状物質）

②地上気象の状況

風向・風速、日射量、放射収支量、気温、湿度

③上空気象の状況

風向・風速、気温

④大気汚染の発生源の分布状況

(2) 調査地域

対象事業実施区域及びその周辺

(3) 調査地点

①大気質及び地上気象

調査地点は、対象事業実施区域隣接集落内の1地点及び周辺集落内5地点の計6地点（大気質：TK-1～TK-6、地上気象：KS-1～KS-6）とした。

調査地点及び調査項目は、表5-1-7に示すとおりである。また、調査地点は図5-1-5に示すとおりである。

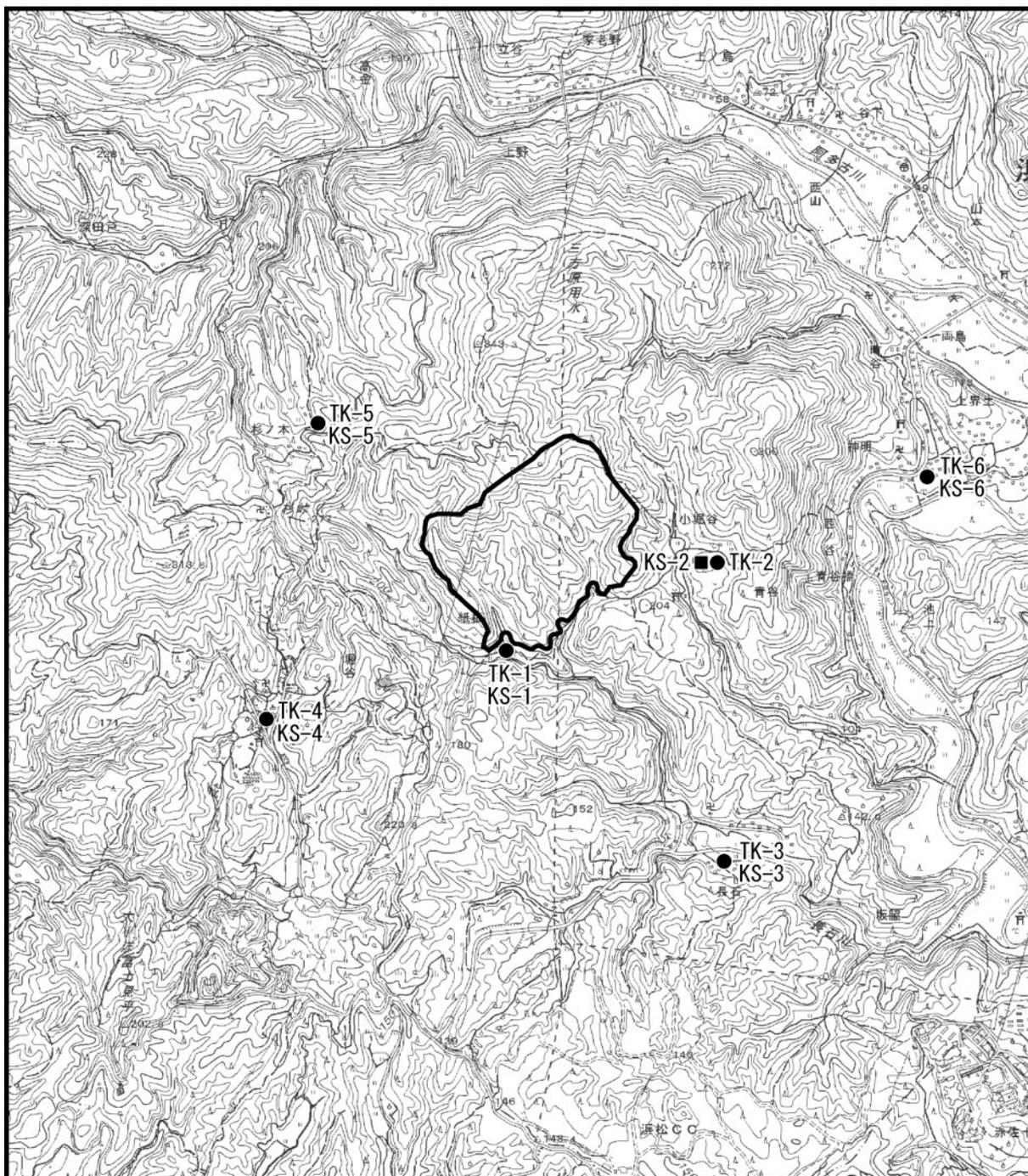
②上空気象

調査地点は、周辺集落内の1地点（KS-2）とした。

調査地点及び調査項目は、表5-1-7に示すとおりである。また、調査地点は図5-1-5に示すとおりである。

表 5-1-7 調査地点及び調査項目

調査地点	地区名	調査項目		
		大気質	地上気象	上空気象
TK-1、KS-1	紙板	二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん、その他の有害物質（塩化水素、水銀、ダイオキシン類、微小粒子状物質）	風向・風速	
TK-2、KS-2	小堀谷		風向・風速、日射量、放射収支量、気温、湿度	風向・風速、気温
TK-3、KS-3	長石		風向・風速	
TK-4、KS-4	堀谷			
TK-5、KS-5	杉ノ本			
TK-6、KS-6	門前			



- : 対象事業実施区域
- : 大気質 (一般大気)・地上気象
- : 上空気象

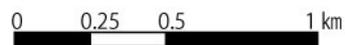


図 5-1-5 調査地点 (一般大気)

③大気汚染の発生源の分布状況

対象事業実施区域に大気汚染物質の影響が及ぶと認められる地点（「調査対象地域」）とした。

(4)調査期間

①大気質及び地上気象

大気質の調査期間は、四季各7日間（粉じんは各1ヶ月間）とした。地上気象の調査期間は、KS-2が1年間、その他は、四季各7日間とした。

大気質及び地上気象の調査実施期間は、表5-1-8に示すとおりである。

②上空気象

上空気象の調査期間は、四季各7日間、各日8回（3時間おき）とした。

上空気象の調査実施期間は、表5-1-8に示すとおりである。

③大気汚染の発生源の分布状況

対象事業実施区域及びその周辺における1年間を通して平均的な状況を代表する時期とした。

表 5-1-8 調査実施期間

調査項目	調査時期	実施期間
大気質 地上気象 (KS-1、KS-3～KS-6)	夏季	平成27年8月6日(木)～8月12日(水) 平成27年8月5日(水)～9月5日(土) (粉じん)
	秋季	平成27年11月1日(日)～11月7日(土) 平成27年11月1日(日)～12月1日(火) (粉じん)
	冬季	平成28年1月15日(金)～1月21日(木) 平成28年1月14日(木)～2月13日(土) (粉じん)
	春季	平成28年4月8日(金)～4月14日(木) 平成28年4月8日(金)～5月8日(日) (粉じん)
地上気象 (KS-2)	通年	平成27年7月1日(木)～平成28年6月30日(木)
上空気象 (KS-2)	夏季	平成27年8月6日(木)～8月12日(水)
	秋季	平成27年11月1日(日)～11月7日(土)
	冬季	平成28年1月15日(金)～1月21日(木)
	春季	平成28年4月8日(金)～4月14日(木)
大気汚染の発生源の分布状況		平成28年8月18日(木)

(5) 調査方法

① 大気質

大気質の調査方法は、表 5-1-9 に示すとおりである。

表 5-1-9 大気質の調査方法

調査項目		調査方法
二酸化硫黄		「大気汚染に係る環境基準について」(昭和 48 年環境庁告示第 25 号) に規定される方法
二酸化窒素		「二酸化窒素に係る環境基準について」(昭和 53 年環境庁告示第 38 号) に規定される方法
浮遊粒子状物質		「大気汚染に係る環境基準について」(昭和 48 年環境庁告示第 25 号) に規定される方法
粉じん		ダストジャーを用いる方法
その他の有害物質	塩化水素	「大気汚染物質測定法指針」(昭和 63 年 環境庁大気保全局) に規定される方法
	水銀	有害大気汚染物質測定方法マニュアル」(平成 23 年 環境省水・大気環境室) に規定される方法
	ダイオキシン類	「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」(平成 20 年改定 環境省水・大気環境局) に規定される方法
	微小粒子状物質	「微小粒子状物質による大気の汚染に係る環境基準について」(平成 21 年環境省告示第 33 号) に規定される方法

② 地上気象

地上気象の調査方法は、表 5-1-10 に示すとおりである。

③ 上空気象

上空気象の調査方法は、表 5-1-10 に示すとおりである。

④ 大気汚染の発生源の分布状況

住宅地図等により工場等の発生源の分布を確認し、現地踏査により確認した。

表 5-1-10 気象の調査方法

調査項目		調査方法
地上気象	風向・風速	「地上気象観測指針」(平成 14 年気象庁)に規定される方法
	日射量	
	気温・湿度	
	放射収支量	「環境大気常時監視マニュアル第 4 版」((社)日本環境技術協会)に規定される方法
上空気象	風向・風速 気温	「高層気象観測指針」(平成 16 年気象庁)に規定される方法

(6) 調査結果

① 大気質

a 二酸化硫黄

二酸化硫黄の調査結果は、表 5-1-11 に示すとおりである。

各地点の四季の平均値は、0.001～0.003ppm を示し、各地点で環境基準値（日平均値 0.04ppm、1 時間値 0.1ppm）を下回っていた。

表 5-1-11 二酸化硫黄調査結果

調査地点	地区名	調査時期	期間平均値 (ppm)	1 時間値		日平均値		環境基準との 適合状況 適:○ 否:×
				最高値 (ppm)	0.1ppmを超 えた時間数 (時間)	最高値 (ppm)	0.04ppmを 超えた日数 (日)	
TK-1	紙 板	夏季	0.003	0.005	0	0.003	0	○
		秋季	0.000	0.002	0	0.001	0	○
		冬季	0.001	0.003	0	0.001	0	○
		春季	0.001	0.004	0	0.001	0	○
		四季	0.001	0.005	0	0.003	0	—
TK-2	小堀谷	夏季	0.006	0.017	0	0.009	0	○
		秋季	0.000	0.002	0	0.001	0	○
		冬季	0.001	0.002	0	0.001	0	○
		春季	0.002	0.004	0	0.002	0	○
		四季	0.002	0.017	0	0.009	0	—
TK-3	長 石	夏季	0.010	0.026	0	0.012	0	○
		秋季	0.000	0.003	0	0.001	0	○
		冬季	0.001	0.003	0	0.001	0	○
		春季	0.001	0.003	0	0.001	0	○
		四季	0.003	0.026	0	0.012	0	—
TK-4	堀 谷	夏季	0.007	0.016	0	0.008	0	○
		秋季	0.001	0.003	0	0.001	0	○
		冬季	0.001	0.002	0	0.001	0	○
		春季	0.001	0.007	0	0.002	0	○
		四季	0.002	0.016	0	0.008	0	—
TK-5	杉ノ本	夏季	0.001	0.002	0	0.002	0	○
		秋季	0.000	0.001	0	0.001	0	○
		冬季	0.000	0.001	0	0.001	0	○
		春季	0.001	0.003	0	0.001	0	○
		四季	0.001	0.003	0	0.002	0	—
TK-6	門 前	夏季	0.001	0.002	0	0.001	0	○
		秋季	0.001	0.001	0	0.001	0	○
		冬季	0.000	0.004	0	0.001	0	○
		春季	0.000	0.003	0	0.001	0	○
		四季	0.001	0.004	0	0.001	0	—

b 二酸化窒素

二酸化窒素の調査結果は、表 5-1-12 に示すとおりである。

各地点の四季の平均値は、0.002~0.003ppm を示し、各地点で環境基準値（日平均値 0.04~0.06ppm のゾーン内またはそれ以下）を下回っていた。

表 5-1-12 二酸化窒素調査結果

調査地点	地区名	調査時期	期間平均値 (ppm)	1時間値 の最高値 (ppm)	日平均値			環境基準との 適合状況 適:○ 否:×
					最高値 (ppm)	0.04ppm以 上0.06ppm 以下の日数 (日)	0.06ppmを 超えた日数 (日)	
TK-1	紙板	夏季	0.003	0.008	0.003	0	0	○
		秋季	0.002	0.006	0.002	0	0	○
		冬季	0.002	0.006	0.003	0	0	○
		春季	0.003	0.015	0.004	0	0	○
		四季	0.002	0.015	0.004	0	0	—
TK-2	小堀谷	夏季	0.002	0.006	0.003	0	0	○
		秋季	0.003	0.009	0.004	0	0	○
		冬季	0.002	0.006	0.004	0	0	○
		春季	0.004	0.017	0.005	0	0	○
		四季	0.003	0.017	0.005	0	0	—
TK-3	長石	夏季	0.003	0.005	0.003	0	0	○
		秋季	0.002	0.007	0.003	0	0	○
		冬季	0.003	0.008	0.004	0	0	○
		春季	0.003	0.014	0.005	0	0	○
		四季	0.003	0.014	0.005	0	0	—
TK-4	堀谷	夏季	0.001	0.006	0.002	0	0	○
		秋季	0.003	0.010	0.004	0	0	○
		冬季	0.002	0.006	0.004	0	0	○
		春季	0.003	0.015	0.004	0	0	○
		四季	0.002	0.015	0.004	0	0	—
TK-5	杉ノ本	夏季	0.001	0.005	0.002	0	0	○
		秋季	0.002	0.008	0.003	0	0	○
		冬季	0.003	0.008	0.004	0	0	○
		春季	0.002	0.012	0.004	0	0	○
		四季	0.002	0.012	0.004	0	0	—
TK-6	門前	夏季	0.002	0.006	0.003	0	0	○
		秋季	0.002	0.015	0.004	0	0	○
		冬季	0.001	0.006	0.003	0	0	○
		春季	0.003	0.013	0.004	0	0	○
		四季	0.002	0.015	0.004	0	0	—

c 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の調査結果は、表 5-1-13 に示すとおりである。

各地点の四季の平均値は、0.014~0.016mg/m³を示し、各地点で環境基準値（日平均値 0.10mg/m³、1時間値 0.20mg/m³）を下回っていた。

表 5-1-13 浮遊粒子状物質調査結果

調査地点	地区名	調査時期	期間平均値 (mg/m ³)	1時間値		日平均値		環境基準との 適合状況 適:○ 否:×
				最高値 (mg/m ³)	0.20mg/m ³ を 超えた時間数 (時間)	最高値 (mg/m ³)	0.10mg/m ³ を 超えた日数 (日)	
TK-1	紙板	夏季	0.028	0.064	0	0.038	0	○
		秋季	0.013	0.034	0	0.018	0	○
		冬季	0.006	0.018	0	0.009	0	○
		春季	0.018	0.062	0	0.026	0	○
		四季	0.016	0.064	0	0.038	0	—
TK-2	小堀谷	夏季	0.025	0.052	0	0.033	0	○
		秋季	0.012	0.038	0	0.018	0	○
		冬季	0.006	0.024	0	0.009	0	○
		春季	0.017	0.056	0	0.026	0	○
		四季	0.015	0.056	0	0.033	0	—
TK-3	長石	夏季	0.024	0.056	0	0.034	0	○
		秋季	0.011	0.040	0	0.016	0	○
		冬季	0.005	0.017	0	0.006	0	○
		春季	0.015	0.038	0	0.020	0	○
		四季	0.014	0.056	0	0.034	0	—
TK-4	堀谷	夏季	0.026	0.058	0	0.035	0	○
		秋季	0.013	0.035	0	0.019	0	○
		冬季	0.007	0.019	0	0.009	0	○
		春季	0.018	0.053	0	0.029	0	○
		四季	0.016	0.058	0	0.035	0	—
TK-5	杉ノ本	夏季	0.026	0.072	0	0.035	0	○
		秋季	0.014	0.036	0	0.020	0	○
		冬季	0.007	0.023	0	0.012	0	○
		春季	0.018	0.053	0	0.028	0	○
		四季	0.016	0.072	0	0.035	0	—
TK-6	門前	夏季	0.027	0.087	0	0.035	0	○
		秋季	0.013	0.034	0	0.018	0	○
		冬季	0.006	0.021	0	0.009	0	○
		春季	0.017	0.051	0	0.025	0	○
		四季	0.016	0.087	0	0.035	0	—

d 粉じん等

粉じんの調査結果は、表 5-1-14 に示すとおりである。

各地点の四季の平均値は、2.89～3.54t/km²/30 日を示した。

表 5-1-14 粉じん調査結果

単位：t/km²/30日

調査地点	地区名	項目	夏季	秋季	冬季	春季	四季
TK-1	紙板	降下ばいじん量	1.55	3.10	2.85	6.66	3.54
		溶解性物質	1.28	2.51	2.62	5.22	2.91
		不溶解性物質	0.27	0.59	0.23	1.44	0.63
TK-2	小堀谷	降下ばいじん量	1.18	2.67	3.16	4.79	2.95
		溶解性物質	0.96	2.50	3.02	3.92	2.60
		不溶解性物質	0.22	0.17	0.14	0.87	0.35
TK-3	長石	降下ばいじん量	1.18	2.72	4.30	5.39	3.40
		溶解性物質	0.98	2.61	3.68	4.47	2.94
		不溶解性物質	0.20	0.11	0.62	0.92	0.46
TK-4	堀谷	降下ばいじん量	1.01	1.84	3.09	5.62	2.89
		溶解性物質	0.75	1.47	2.61	4.58	2.35
		不溶解性物質	0.26	0.37	0.48	1.04	0.54
TK-5	杉ノ本	降下ばいじん量	1.17	2.90	3.20	6.62	3.47
		溶解性物質	0.72	2.60	3.06	4.74	2.78
		不溶解性物質	0.45	0.30	0.14	1.88	0.69
TK-6	門前	降下ばいじん量	1.11	2.66	2.38	5.54	2.92
		溶解性物質	0.86	2.43	2.14	4.89	2.58
		不溶解性物質	0.25	0.23	0.24	0.65	0.34

e その他の有害物質

ア 塩化水素

塩化水素の調査結果は、表 5-1-15 に示すとおりである。

全地点で 0.001ppm 未満であり、「大気汚染防止法に基づく窒素酸化物の排出基準の改定等について」（環境庁大気保全局長通達 昭和 56 年 環大規第 136 号）に示す「目標環境濃度 0.02ppm」を下回った。

表 5-1-15 塩化水素調査結果

単位：ppm

調査地点	地区名	夏季	秋季	冬季	春季	四季	目標環境濃度
TK-1	紙板	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02
TK-2	小堀谷	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
TK-3	長石	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
TK-4	堀谷	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
TK-5	杉ノ本	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
TK-6	門前	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	

イ 水銀

水銀の調査結果は、表 5-1-16 に示すとおりである。

各地点の四季の平均値は、0.0011~0.0012 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を示し、「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について」（平成 15 年 環境省環境管理局长通知）に示す指針値（年平均値）の 0.04 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ をどの地点も下回った。

表 5-1-16 水銀調査結果

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

調査地点	地区名	夏季	秋季	冬季	春季	四季	目標環境濃度
TK-1	紙板	0.0012	0.0010	0.0013	0.0014	0.0012	0.04
TK-2	小堀谷	0.0012	0.0010	0.0016	0.0011	0.0012	
TK-3	長石	0.0010	0.0010	0.0013	0.0012	0.0011	
TK-4	堀谷	0.0011	0.0010	0.0014	0.0013	0.0012	
TK-5	杉ノ本	0.0008	0.0009	0.0014	0.0011	0.0011	
TK-6	門前	0.0010	0.0010	0.0014	0.0012	0.0012	

ウ ダイオキシン類

ダイオキシン類の調査結果は、表 5-1-17 に示すとおりである。

各地点の四季の平均値は、0.0049～0.0061pg-TEQ/m³を示し、各地点で環境基準値（年間平均値 0.6 pg-TEQ/m³）を下回っていた。

表 5-1-17 ダイオキシン類調査結果

単位：pg-TEQ/m³

調査地点	地区名	夏季	秋季	冬季	春季	四季	環境基準との適合状況 適:○ 否:×
TK-1	紙板	0.0049	0.0069	0.0043	0.0056	0.0054	○
TK-2	小堀谷	0.0054	0.0046	0.0047	0.0051	0.0050	○
TK-3	長石	0.0050	0.0062	0.0048	0.0047	0.0052	○
TK-4	堀谷	0.0052	0.0049	0.0046	0.0054	0.0050	○
TK-5	杉ノ本	0.0045	0.0037	0.0048	0.0065	0.0049	○
TK-6	門前	0.0054	0.0085	0.0051	0.0052	0.0061	○

エ 微小粒子状物質

微小粒子状物質の調査結果は、表 5-1-18 に示すとおりである。

各地点の四季の平均値は、9～11 μg/m³を示し、各地点で環境基準値（日平均値 35 μg/m³）を下回っていた。

表 5-1-18 微小粒子状物質調査結果

調査地点	地区名	調査時期	期間平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	1時間値	日平均値		環境基準との 適合状況 適:○ 否:×
				最高値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	最高値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を 超えた日数 (日)	
TK-1	紙板	夏季	17	43	25	0	○
		秋季	6	22	8	0	○
		冬季	3	16	6	0	○
		春季	10	33	17	0	○
		四季	9	43	25	0	—
TK-2	小堀谷	夏季	16	39	23	0	○
		秋季	8	18	13	0	○
		冬季	3	14	7	0	○
		春季	11	37	17	0	○
		四季	10	39	23	0	—
TK-3	長石	夏季	21	51	30	0	○
		秋季	8	20	13	0	○
		冬季	3	15	6	0	○
		春季	10	29	15	0	○
		四季	10	51	30	0	—
TK-4	堀谷	夏季	18	43	27	0	○
		秋季	9	39	13	0	○
		冬季	4	20	7	0	○
		春季	10	31	18	0	○
		四季	10	43	27	0	—
TK-5	杉ノ本	夏季	17	41	24	0	○
		秋季	8	19	11	0	○
		冬季	3	14	6	0	○
		春季	11	38	19	0	○
		四季	10	41	24	0	—
TK-6	門前	夏季	22	50	30	0	○
		秋季	9	28	14	0	○
		冬季	3	15	5	0	○
		春季	10	39	16	0	○
		四季	11	50	30	0	—

②地上気象

a 通年 (KS-2)

ア 風向・風速

風向・風速の調査結果は、表 5-1-19 に示すとおりである。また、風配図及び風向別平均風速図は、図 5-1-6 に示すとおりである。

月別の最多風向は、5月～8月ではSW(南西)、WSW(西南西)、その他の月はWNW(西北西)、S(南)を示した。年間の最多風向は、WNW(西北西)であった。

月別の平均風速は、0.6～1.4m/sを示し、年間では1.0m/sであった。

イ 日射量・放射収支量

日射量の調査結果は、表 5-1-19 に示すとおりである。

日積算値の月平均値は、2.14～4.96kW/m²を示し、5月が4.96kW/m²と最も大きかった。

放射収支量の調査結果は、表 5-1-19 に示すとおりである。

日積算値の月平均値は、0.37～3.17kW/m²を示し、5月が3.17kW/m²と最も大きかった。

ウ 気温・湿度

気温の調査結果は、表 5-1-19 に示すとおりである。

月別の平均気温は、6.0～25.6℃を示し、最高気温は35.0℃、最低気温は-4.6℃であった。

湿度の調査結果は、表 5-1-19 に示すとおりである。

月別の平均湿度は、56～86%を示した。

表 5-1-19 地上気象調査結果

	風向・風速					気温			湿度		日射量 (kW/m ²)	放射 収支量 (kW/m ²)
	平均 風速 (m/s)	最多 風向 (16方位)	最大		平均 (°C)	最高 (°C)	最低 (°C)	平均 (%)	最低 (%)			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)								
平成 27年	7月	0.8	WSW	2.6	SW	24.2	35.0	17.7	86	41	4.01	2.70
	8月	0.6	SW	3.4	NW	25.6	33.5	20.0	81	41	4.57	3.14
	9月	0.7	WNW	3.5	SW	21.4	30.5	14.6	82	43	3.36	1.95
	10月	1.0	WNW	4.4	WSW	17.5	26.7	8.2	67	18	3.67	1.67
	11月	0.8	N	3.6	WNW	14.2	23.0	4.2	77	32	2.22	0.79
	12月	1.2	WNW	4.4	NW	9.5	20.9	-0.4	65	29	2.14	0.37
平成 28年	1月	1.4	WNW	3.9	W	6.0	16.9	-4.6	56	23	2.54	0.45
	2月	1.4	WNW	4.4	W	6.6	18.4	-2.7	56	17	3.23	1.02
	3月	1.1	WNW	3.7	W	9.9	22.6	-0.9	63	21	4.06	1.86
	4月	1.0	WNW	4.1	NW	15.0	24.8	6.4	70	14	4.17	2.27
	5月	0.9	SW	4.0	WNW	18.6	28.7	9.9	75	25	4.96	3.17
	6月	0.8	SW	3.3	WNW	21.1	29.8	13.8	79	29	4.33	2.80
年間	1.0	WNW	4.4	WSW, W, NW	15.8	35.0	-4.6	72	14	3.61	1.85	

注) 日射量、放射収支量は、日積算値の平均値

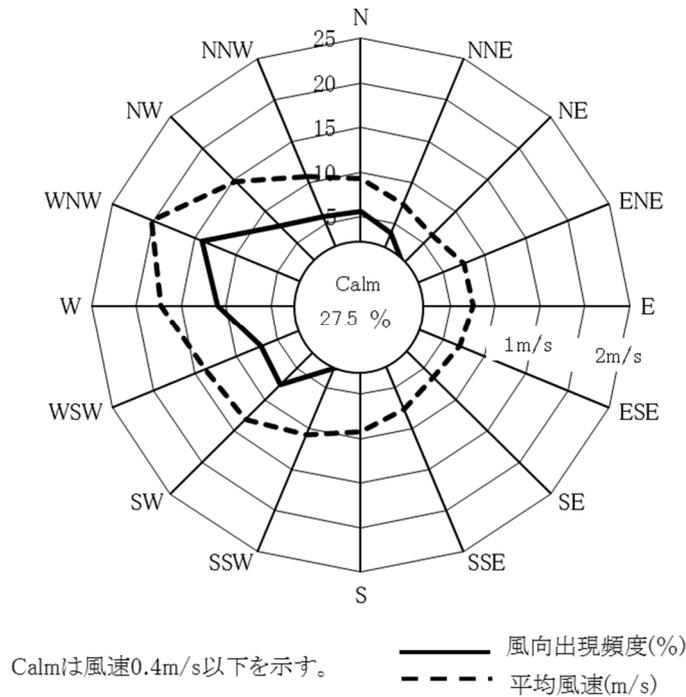


図 5-1-6 風配図及び風向別平均風速図

エ 大気安定度

風速及び日射量・放射収支量の調査結果から、表 5-1-20 に示すパスキル安定度階級分類表より、大気安定度を求めた。

大気安定度の分類結果は、表 5-1-21 に示すとおりである。

年間の大気安定度出現頻度は、D（中立）が最も多く 37.2%であった。

表 5-1-20 パスキル安定度階級分類表（原安気象指針、1982）

風速 u (m/s)	日射量 T (kW/m ²)				放射収支量 Q (kW/m ²)		
	$T \geq 0.60$	$0.60 > T \geq 0.30$	$0.30 > T \geq 0.15$	$0.15 > T$	$Q \geq -0.020$	$-0.020 > Q \geq -0.040$	$-0.040 > Q$
$u < 2$	A	A - B	B	D	D	G	G
$2 \leq u < 3$	A - B	B	C	D	D	E	F
$3 \leq u < 4$	B	B - C	C	D	D	D	E
$4 \leq u < 6$	C	C - D	D	D	D	D	D
$6 \leq u$	C	D	D	D	D	D	D

注) 1：日中(日の出～日の入)は日射量、夜間(日の入～日の出)は放射収支量を用いた。

2：日射量、放射収支量の単位は kW/m² を用いた。

3：安定度階級は、以下のとおりである。

A：強不安定、B：並不安定、C：弱不安定、D：中立、E：弱安定、F：並安定、G：強安定
出典：「窒素酸化物総量規制マニュアル[新版]」（平成 12 年、公害研究対策センター）

表 5-1-21 大気安定度出現頻度

単位：%

A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計
5.7	12.3	10.1	0.5	0.8	0.0	37.2	0.4	2.3	30.7	100

b 四季 (KS-1、KS-3～KS-6)

ア 風向・風速

各地点の風向・風速の調査結果は、表 5-1-22 に示すとおりである。

各地点の四季の最多風向は、KS-1 では SW (南西)、KS-3 では NW(北西)、KS-4 では NE(北東)、KS-5 では NW(北西)、KS-6 では E(東)を示した。各地点の四季の平均風速は、0.6～0.8m/s を示した。

表 5-1-22 風向風速調査結果

調査地点	地区名	調査時期	風向・風速			
			平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	最大	
					風速 (m/s)	風向 (16方位)
KS-1	紙板	夏季	0.4	N	2.7	SW
		秋季	0.4	SW	2.6	SW
		冬季	1.2	SW	4.0	SW
		春季	0.7	SW	4.8	SW
		四季	0.7	SW	4.8	SW
KS-3	長石	夏季	0.6	E	2.7	ENE
		秋季	0.4	NW	2.0	ESE
		冬季	1.5	NW	4.2	NW
		春季	0.9	E	4.4	WNW
		四季	0.8	NW	4.4	WNW
KS-4	堀谷	夏季	0.5	S	3.9	NW
		秋季	0.4	NE	2.5	NNE
		冬季	1.2	NE	3.1	ENE
		春季	0.8	NE	3.1	NNW
		四季	0.7	NE	3.9	NW
KS-5	杉ノ本	夏季	0.4	ESE	1.7	ESE
		秋季	0.3	NE	1.6	NW
		冬季	1.0	NE	2.8	WNW
		春季	0.6	NW	2.7	NNE
		四季	0.6	NW	2.8	WNW
KS-6	門前	夏季	0.6	ESE	2.3	WSW
		秋季	0.5	E	1.8	ESE
		冬季	0.9	E	2.7	E
		春季	0.6	E	2.8	ENE
		四季	0.7	E	2.8	ENE

③上空気象

上空気象調査結果の整理に際しては、本市の日の出、日の入り時刻から、昼夜の判別を行った。

各季節の昼夜の時間は、表 5-1-23 に示すとおりである。

表 5-1-23 昼夜の時間区分

季節	昼間	夜間
夏季	9時、12時、15時	0時、3時、6時、18時、21時
秋季	9時、12時、15時	0時、3時、6時、18時、21時
冬季	9時、12時、15時	0時、3時、6時、18時、21時
春季	9時、12時、15時	0時、3時、6時、18時、21時

注) 日の出1時間後から日の入り1時間前までを昼間、日の入り1時間前から日の出1時間後までを夜間として取り扱う。

出典：「窒素酸化物総量規制マニュアル[新版]」（平成12年、公害研究対策センター）

a 風向・風速

高度別の平均風速は、表 5-1-24 及び図 5-1-7 に示すとおりである。

四季の全日の平均風速は、高度 50m で 3.5m/s、高度 100m で 4.5m/s、高度 200m で 5.4m/s、高度 400m で 6.4m/s、高度 1000m で 7.9m/s を示し、高度とともに風速が大きくなる傾向がみられた。昼夜の風速差をみると、概ね夏季は昼間が、その他の季節は夜間の風速が大きい傾向がみられた。

また、高度別の風向出現頻度は表 5-1-25、高度別の風配図及び風向別平均風速図は図 5-1-8 に示すとおりである。

四季の最多風向は、高度 50～150m では WNW(西北西)、200～500m では NW(北西)、1000m では NNW(北北西)と、いずれも北西寄りになっている。

表 5-1-24 高度別平均風速調査結果

単位：m/s

高度 (m)	四季			夏季			秋季			冬季			春季		
	全日	昼間	夜間	全日	昼間	夜間	全日	昼間	夜間	全日	昼間	夜間	全日	昼間	夜間
50	3.5	3.7	3.4	2.5	3.0	2.2	3.1	2.8	3.3	5.0	4.9	5.1	3.3	4.0	3.0
100	4.5	4.6	4.4	2.9	3.4	2.6	3.7	3.5	3.8	6.8	6.5	6.9	4.6	5.0	4.3
150	5.1	5.1	5.1	2.9	3.5	2.6	4.0	3.9	4.1	8.1	7.7	8.4	5.3	5.5	5.2
200	5.4	5.4	5.4	2.9	3.5	2.5	4.1	4.0	4.2	8.9	8.5	9.2	5.8	5.7	5.9
250	5.7	5.6	5.7	2.7	3.5	2.2	4.2	4.1	4.2	9.4	8.9	9.8	6.3	5.9	6.5
300	5.9	5.7	6.0	2.7	3.5	2.2	4.2	4.1	4.3	10.0	9.2	10.4	6.8	6.1	7.2
350	6.2	5.9	6.4	2.8	3.7	2.3	4.3	4.2	4.4	10.5	9.7	10.9	7.1	6.0	7.7
400	6.4	6.0	6.7	3.0	3.6	2.6	4.5	4.3	4.6	10.9	10.0	11.4	7.4	5.9	8.3
450	6.6	6.0	7.0	3.0	3.6	2.7	4.5	4.3	4.7	11.3	10.3	11.9	7.7	5.9	8.8
500	6.9	6.1	7.3	3.1	3.6	2.9	4.7	4.4	4.9	11.7	10.4	12.4	8.0	6.1	9.2
550	7.1	6.2	7.6	3.2	3.5	3.0	4.8	4.6	5.0	12.1	10.6	13.0	8.2	6.1	9.4
600	7.2	6.3	7.8	3.3	3.5	3.1	4.9	4.6	5.1	12.3	10.8	13.3	8.5	6.3	9.7
650	7.4	6.4	8.0	3.3	3.5	3.2	4.9	4.5	5.1	12.6	11.1	13.5	8.7	6.6	10.0
700	7.5	6.6	8.1	3.3	3.4	3.3	4.8	4.4	5.1	12.9	11.5	13.8	9.0	7.0	10.2
750	7.6	6.7	8.2	3.4	3.4	3.4	4.8	4.4	5.1	13.2	11.8	14.1	9.2	7.3	10.3
800	7.7	6.8	8.2	3.4	3.4	3.4	4.8	4.5	5.0	13.4	12.0	14.2	9.3	7.4	10.3
850	7.8	7.0	8.2	3.5	3.4	3.5	4.8	4.5	4.9	13.6	12.3	14.3	9.3	7.5	10.3
900	7.8	7.0	8.3	3.5	3.4	3.6	4.7	4.7	4.8	13.6	12.4	14.4	9.4	7.7	10.4
950	7.9	7.1	8.3	3.5	3.3	3.6	4.7	4.8	4.6	13.8	12.5	14.6	9.5	7.9	10.4
1000	7.9	7.2	8.3	3.5	3.2	3.6	4.7	5.0	4.6	13.9	12.5	14.7	9.6	8.2	10.4

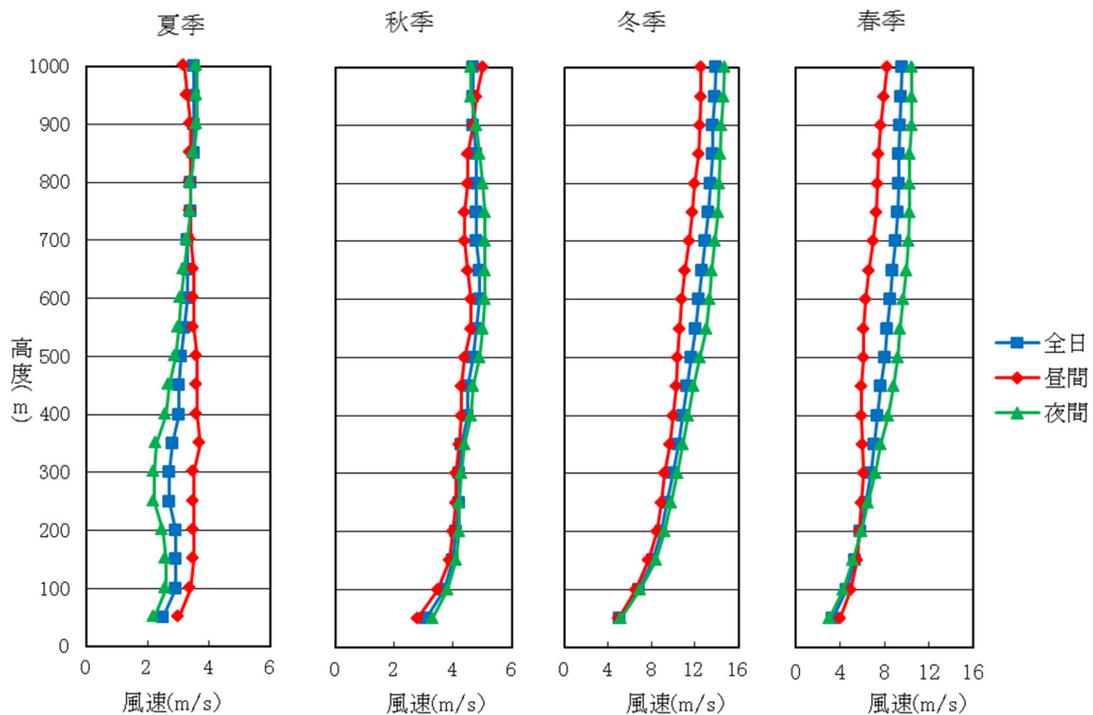


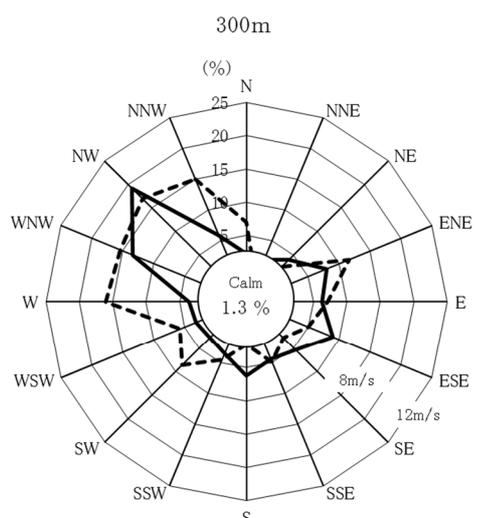
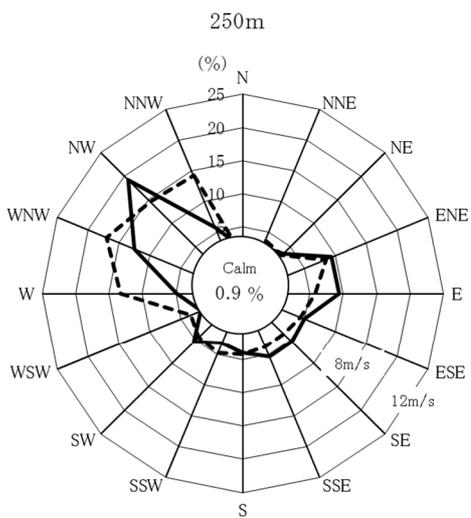
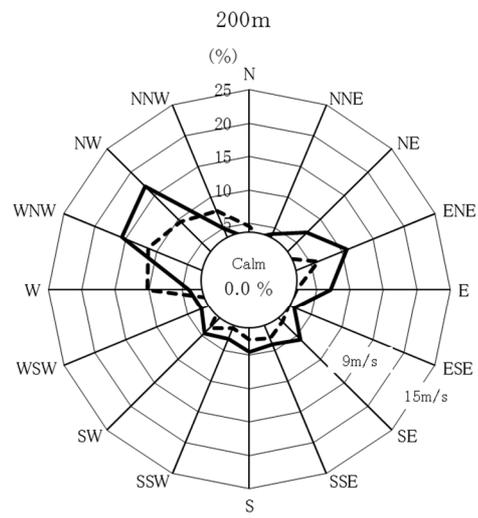
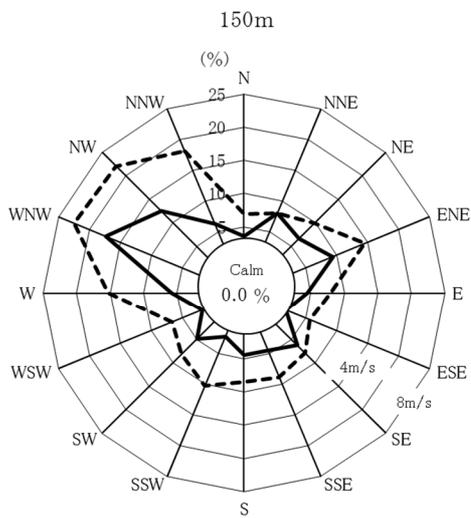
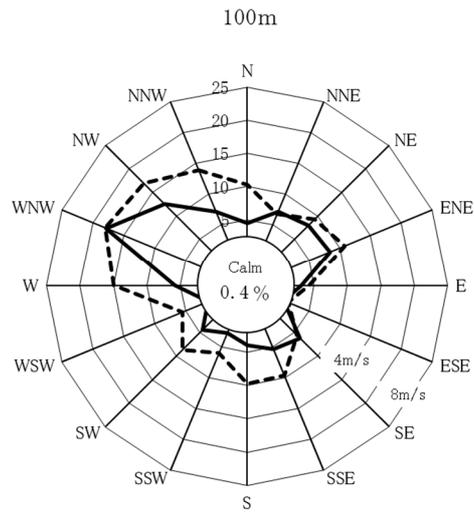
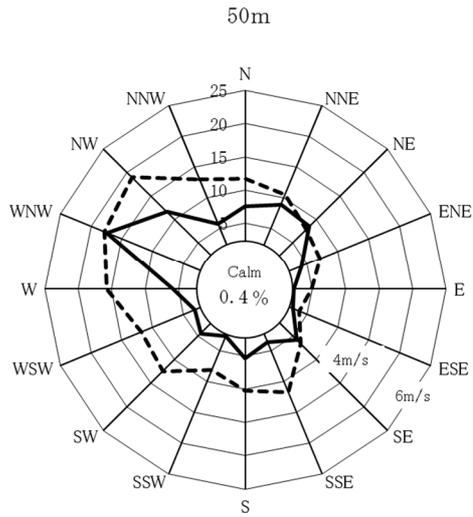
图 5-1-7 高度別平均風速

表 5-1-25 高度別風向出現頻度

單位：%

期間	高度 (m)	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	Calm
四季	50	8.9	8.5	4.0	2.2	2.7	5.8	3.6	5.4	2.7	4.5	3.1	5.8	17.4	11.6	5.8	7.6	0.4
	100	7.1	8.0	8.5	3.1	0.9	6.3	5.4	4.0	2.7	4.5	1.3	5.8	17.9	12.5	7.1	4.5	0.4
	150	8.0	6.7	9.4	4.5	1.8	6.3	4.5	4.5	2.2	4.9	1.8	5.8	17.4	12.5	6.3	3.6	-
	200	4.0	7.1	10.7	7.1	2.2	5.8	4.0	4.5	3.1	4.5	2.7	4.0	15.6	17.0	4.9	2.7	-
	250	2.7	3.6	9.4	9.4	4.9	5.4	5.4	4.0	3.1	5.4	1.8	4.9	12.5	19.2	5.8	1.8	0.9
	300	1.8	4.0	8.0	6.3	8.9	5.4	4.5	6.3	3.6	2.7	3.1	3.6	13.4	19.2	5.8	2.2	1.3
	350	0.9	3.1	6.7	8.5	8.5	6.3	5.4	4.9	3.6	2.2	4.5	4.5	12.1	18.3	8.0	1.8	0.9
	400	1.3	2.2	5.4	6.7	11.2	7.1	6.7	3.1	3.1	1.8	4.9	5.8	11.6	16.5	9.4	2.2	0.9
	500	0.9	2.2	4.9	6.3	11.6	8.9	6.7	2.2	3.6	0.9	4.0	5.4	11.2	15.2	12.9	3.1	-
	1000	2.7	2.2	1.3	4.0	6.7	11.2	5.4	3.6	2.2	0.9	2.2	4.9	12.1	13.8	20.1	6.3	0.4
夏季	50	10.7	12.5	1.8	1.8	5.4	10.7	5.4	10.7	5.4	8.9	5.4	5.4	3.6	3.6	3.6	5.4	-
	100	10.7	8.9	7.1	3.6	1.8	10.7	8.9	7.1	3.6	10.7	3.6	7.1	5.4	1.8	5.4	1.8	1.8
	150	12.5	5.4	7.1	7.1	1.8	12.5	5.4	7.1	5.4	12.5	5.4	5.4	3.6	3.6	1.8	3.6	-
	200	1.8	12.5	8.9	7.1	3.6	8.9	8.9	5.4	5.4	14.3	7.1	-	7.1	3.6	1.8	3.6	-
	250	3.6	5.4	7.1	8.9	5.4	8.9	10.7	5.4	5.4	16.1	3.6	1.8	7.1	5.4	-	1.8	3.6
	300	5.4	3.6	5.4	5.4	10.7	5.4	8.9	14.3	5.4	7.1	5.4	1.8	10.7	5.4	-	1.8	3.6
	350	3.6	5.4	7.1	3.6	8.9	7.1	10.7	10.7	7.1	3.6	8.9	3.6	8.9	3.6	3.6	1.8	1.8
	400	-	8.9	7.1	1.8	10.7	10.7	10.7	7.1	7.1	1.8	8.9	8.9	5.4	1.8	5.4	3.6	-
	500	1.8	8.9	10.7	3.6	8.9	7.1	14.3	3.6	7.1	3.6	7.1	8.9	5.4	3.6	3.6	1.8	-
	1000	5.4	8.9	3.6	10.7	5.4	5.4	1.8	5.4	3.6	1.8	5.4	8.9	14.3	8.9	7.1	3.6	-
秋季	50	21.4	7.1	3.6	3.6	3.6	7.1	3.6	3.6	1.8	1.8	3.6	-	7.1	8.9	1.8	19.6	1.8
	100	17.9	14.3	7.1	3.6	-	10.7	8.9	3.6	1.8	1.8	-	1.8	5.4	8.9	3.6	10.7	-
	150	14.3	17.9	7.1	5.4	3.6	7.1	5.4	8.9	3.6	-	-	1.8	5.4	8.9	1.8	8.9	-
	200	12.5	12.5	16.1	8.9	3.6	7.1	3.6	8.9	5.4	-	-	-	3.6	12.5	1.8	3.6	-
	250	5.4	7.1	19.6	12.5	8.9	5.4	5.4	7.1	5.4	1.8	-	-	3.6	12.5	3.6	1.8	-
	300	-	8.9	17.9	10.7	12.5	8.9	3.6	7.1	7.1	0.0	-	-	3.6	10.7	5.4	1.8	1.8
	350	-	3.6	8.9	25.0	12.5	7.1	5.4	7.1	5.4	1.8	-	-	1.8	10.7	7.1	1.8	1.8
	400	1.8	-	7.1	17.9	21.4	8.9	7.1	3.6	5.4	3.6	-	-	1.8	10.7	5.4	1.8	3.6
	500	1.8	-	7.1	10.7	25.0	16.1	8.9	1.8	5.4	-	1.8	-	3.6	7.1	8.9	1.8	-
	1000	3.6	-	1.8	5.4	8.9	30.4	8.9	1.8	1.8	1.8	1.8	-	3.6	10.7	8.9	8.9	1.8
冬季	50	-	3.6	3.6	3.6	-	3.6	-	-	-	-	-	10.7	50.0	16.1	7.1	-	-
	100	-	-	8.9	3.6	-	1.8	-	-	-	-	-	7.1	48.2	23.2	7.1	-	-
	150	-	1.8	8.9	1.8	-	1.8	-	-	-	-	-	5.4	50.0	21.4	8.9	-	-
	200	-	-	8.9	3.6	-	1.8	-	-	-	-	-	5.4	42.9	30.4	7.1	-	-
	250	-	-	8.9	3.6	-	1.8	-	-	-	-	-	7.1	33.9	33.9	8.9	1.8	-
	300	-	-	8.9	1.8	1.8	1.8	-	-	-	-	-	7.1	30.4	37.5	7.1	3.6	-
	350	-	-	8.9	1.8	1.8	1.8	-	-	-	-	-	8.9	30.4	35.7	7.1	3.6	-
	400	1.8	-	7.1	3.6	1.8	1.8	-	-	-	-	-	8.9	32.1	30.4	10.7	1.8	-
	500	-	-	1.8	10.7	-	1.8	-	-	-	-	-	7.1	26.8	28.6	19.6	3.6	-
	1000	1.8	-	-	-	8.9	3.6	-	-	-	-	-	3.6	19.6	17.9	35.7	8.9	-
春季	50	3.6	10.7	7.1	-	1.8	1.8	5.4	7.1	3.6	7.1	1.8	7.1	8.9	17.9	10.7	5.4	-
	100	-	8.9	10.7	1.8	1.8	1.8	3.6	5.4	5.4	5.4	1.8	7.1	12.5	16.1	12.5	5.4	-
	150	5.4	1.8	14.3	3.6	1.8	3.6	7.1	1.8	-	7.1	1.8	10.7	10.7	16.1	12.5	1.8	-
	200	1.8	3.6	8.9	8.9	1.8	5.4	3.6	3.6	1.8	3.6	3.6	10.7	8.9	21.4	8.9	3.6	-
	250	1.8	1.8	1.8	12.5	5.4	5.4	5.4	3.6	1.8	3.6	3.6	10.7	5.4	25.0	10.7	1.8	-
	300	1.8	3.6	-	7.1	10.7	5.4	5.4	3.6	1.8	3.6	7.1	5.4	8.9	23.2	10.7	1.8	-
	350	-	3.6	1.8	3.6	10.7	8.9	5.4	1.8	1.8	3.6	8.9	5.4	7.1	23.2	14.3	-	-
	400	1.8	-	-	3.6	10.7	7.1	8.9	1.8	-	1.8	10.7	5.4	7.1	23.2	16.1	1.8	-
	500	-	-	-	-	12.5	10.7	3.6	3.6	1.8	-	7.1	5.4	8.9	21.4	19.6	5.4	-
	1000	-	-	-	-	3.6	5.4	10.7	7.1	3.6	-	1.8	7.1	10.7	17.9	28.6	3.6	-

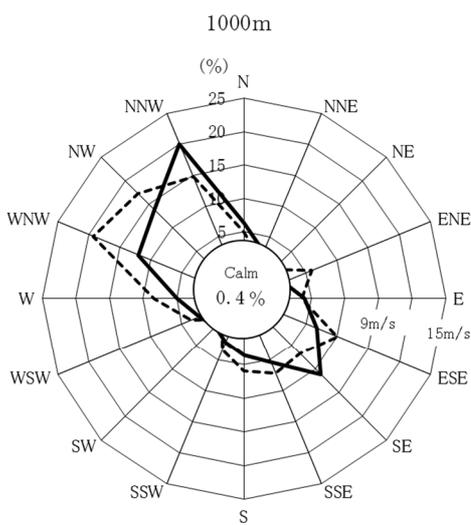
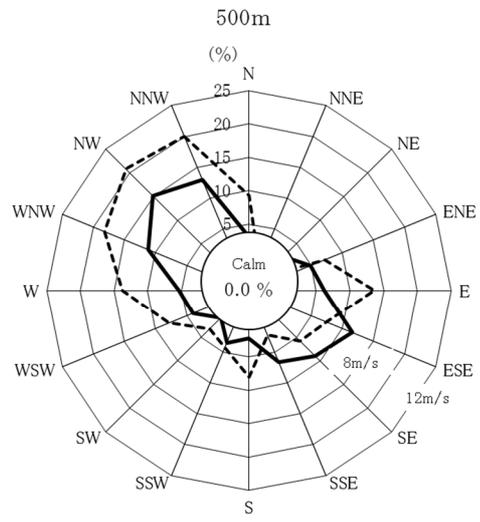
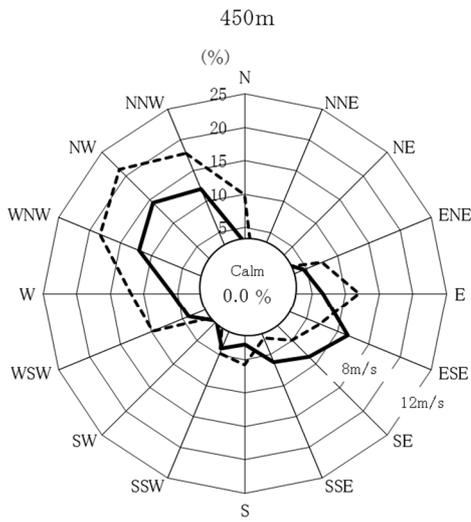
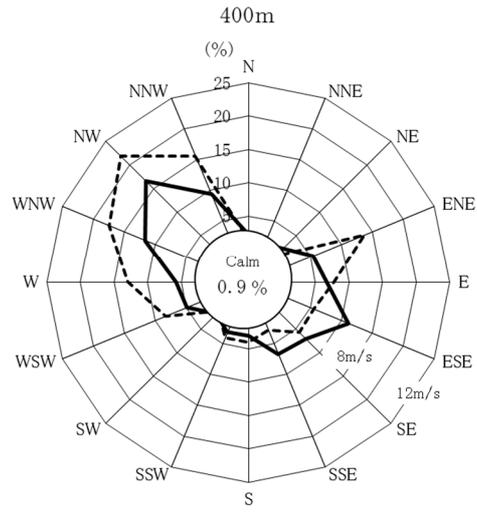
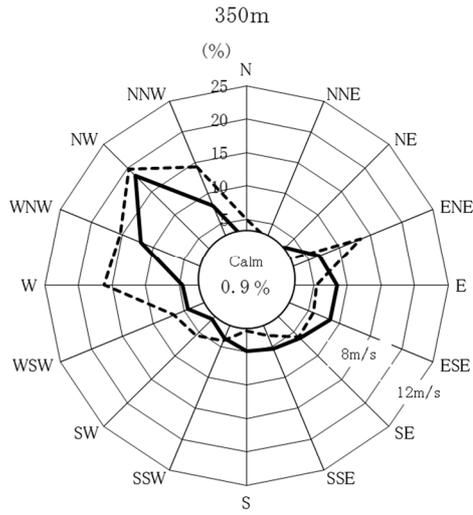
Calm: 靜穩(風速0.4m/s以下)



Calmは風速0.4m/s以下を示す。

— 風向出現頻度(%)
 - - - 平均風速(m/s)

図 5-1-8 (1) 高度別風配図及び風向別平均風速図



Calmは風速0.4m/s以下を示す。

—— 風向出現頻度(%)
- - - 平均風速(m/s)

図 5-1-8 (2) 高度別風配図及び風向別平均風速図

b 気温

高度別の平均気温は、表 5-1-26 及び図 5-1-9 に示すとおりである。

四季の全日の平均気温は、高度 50m で 15.4℃、高度 100m で 15.2℃、高度 200m で 14.7℃、高度 400m で 13.3℃、高度 1000m で 9.4℃を示し、高度とともに気温が低くなる傾向がみられた。

四季の全日の気温差をみると、100m 以上は-0.2～-0.4℃/50m を示した。

表 5-1-26 高度別平均气温調査結果

単位：℃

高度 (m)	四季			夏季			秋季			冬季			春季		
	全日	昼間	夜間												
地上	15.1	18.5	13.1	26.9	31.3	24.2	14.6	17.9	12.7	4.7	7.1	3.3	14.2	17.5	12.2
50	15.4	16.9	14.4	27.1	29.1	25.9	15.4	16.7	14.6	4.4	5.8	3.5	14.6	16.2	13.6
100	15.2	16.5	14.4	27.0	28.7	26.0	15.3	16.3	14.7	4.1	5.3	3.3	14.4	15.7	13.6
150	15.0	16.1	14.3	26.8	28.2	25.9	15.2	16.0	14.7	3.8	4.9	3.1	14.2	15.2	13.6
200	14.7	15.6	14.1	26.4	27.7	25.7	14.9	15.6	14.5	3.4	4.4	2.8	13.9	14.8	13.4
250	14.3	15.1	13.8	26.1	27.1	25.4	14.6	15.0	14.3	3.0	3.9	2.5	13.5	14.2	13.1
300	14.0	14.7	13.6	25.7	26.7	25.2	14.3	14.8	14.0	2.7	3.5	2.2	13.3	13.9	12.9
350	13.7	14.3	13.3	25.4	26.2	24.9	14.0	14.5	13.7	2.4	3.1	2.0	13.0	13.5	12.6
400	13.3	13.9	13.0	25.1	25.8	24.6	13.6	14.1	13.3	2.0	2.6	1.7	12.7	13.1	12.4
450	13.0	13.5	12.7	24.7	25.4	24.4	13.2	13.7	12.9	1.7	2.2	1.4	12.4	12.8	12.1
500	12.7	13.1	12.4	24.4	25.0	24.1	12.8	13.2	12.5	1.4	1.8	1.1	12.1	12.5	11.8
550	12.3	12.7	12.1	24.1	24.6	23.8	12.3	12.7	12.1	1.0	1.4	0.8	11.8	12.2	11.5
600	12.0	12.3	11.8	23.8	24.1	23.6	12.0	12.4	11.8	0.6	0.9	0.4	11.5	12.0	11.2
650	11.7	12.0	11.5	23.5	23.8	23.3	11.7	12.1	11.4	0.3	0.5	0.1	11.3	11.8	11.0
700	11.4	11.7	11.2	23.2	23.6	23.0	11.3	11.6	11.1	-0.1	0.1	-0.2	11.1	11.5	10.8
750	11.1	11.4	10.9	22.9	23.2	22.7	11.0	11.4	10.7	-0.5	-0.3	-0.6	10.8	11.2	10.6
800	10.7	11.0	10.6	22.6	22.9	22.5	10.6	11.0	10.4	-0.9	-0.7	-0.9	10.5	10.8	10.3
850	10.4	10.7	10.2	22.4	22.6	22.2	10.3	10.6	10.1	-1.2	-1.0	-1.3	10.2	10.4	10.0
900	10.1	10.3	9.9	22.1	22.3	21.9	9.9	10.3	9.7	-1.6	-1.3	-1.7	9.8	10.0	9.7
950	9.7	10.0	9.6	21.8	22.0	21.6	9.6	9.9	9.4	-2.0	-1.7	-2.1	9.5	9.7	9.4
1000	9.4	9.6	9.3	21.4	21.7	21.3	9.2	9.6	9.0	-2.3	-2.1	-2.4	9.2	9.3	9.2

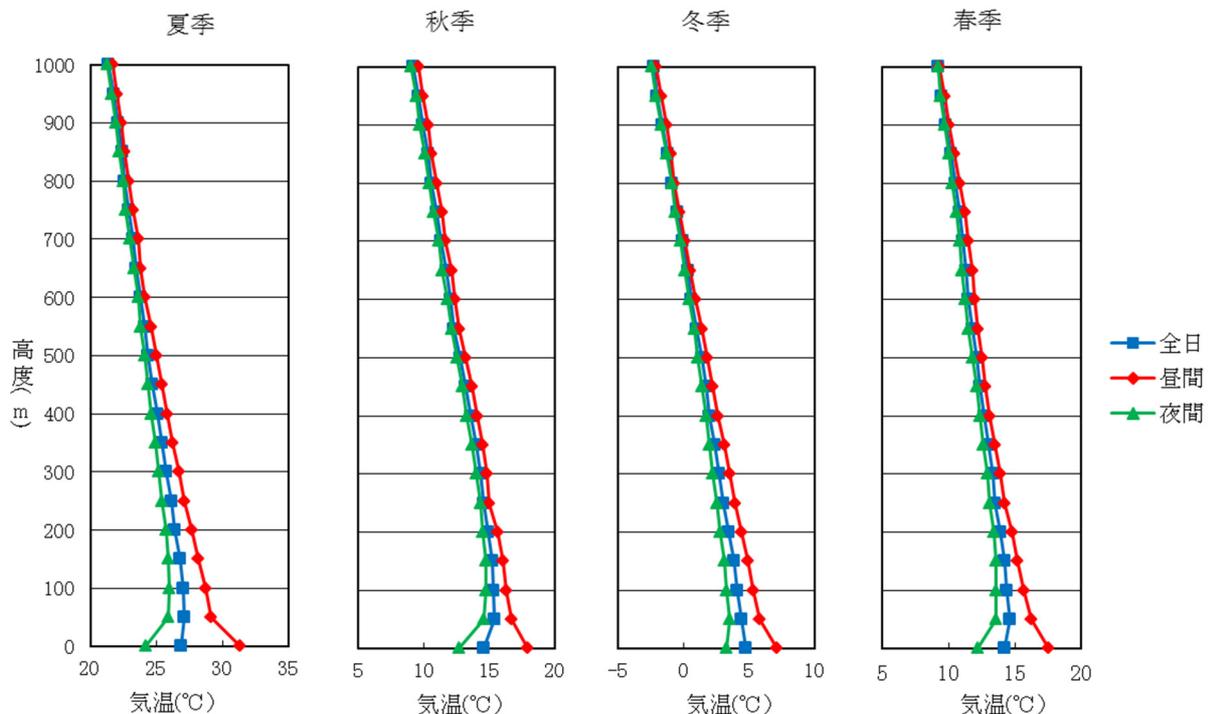


図 5-1-9 高度別平均气温

c 逆転層出現状況

逆転層の出現頻度は、表 5-1-27 に示すとおりである。また、逆転層の区分は、図 5-1-10 に、逆転層出現状況は、図 5-1-11 に示すとおりである。

逆転層区分高度は、煙突実体高（煙突高さ）を考慮した高度(100m)及び有効煙突高を考慮した高度(400m)を設定した。

四季の逆転層区分毎出現頻度は、昼間で下層逆転が 2.4%、上層逆転が 4.8%、全層・二段逆転が 6.0%、夜間で下層逆転が 34.3%、上層逆転が 5.7%、全層・二段逆転が 44.3% であった。

表 5-1-27 逆転層の出現頻度

逆転層区分		四季		夏季		秋季		冬季		春季	
		回数	頻度(%)								
昼間	逆転なし	73	86.9	21	100.0	16	76.2	18	85.7	18	85.7
	下層逆転	2	2.4	0	0.0	0	0.0	1	4.8	1	4.8
	上層逆転	4	4.8	0	0.0	2	9.5	1	4.8	1	4.8
	全層・二段逆転	5	6.0	0	0.0	3	14.3	1	4.8	1	4.8
夜間	逆転なし	22	15.7	5	14.3	1	2.9	11	31.4	5	14.3
	下層逆転	48	34.3	14	40.0	18	51.4	7	20.0	9	25.7
	上層逆転	8	5.7	1	2.9	0	0.0	5	14.3	2	5.7
	全層・二段逆転	62	44.3	15	42.9	16	45.7	12	34.3	19	54.3
全日	逆転なし	95	42.4	26	46.4	17	30.4	29	51.8	23	41.1
	下層逆転	50	22.3	14	25.0	18	32.1	8	14.3	10	17.9
	上層逆転	12	5.4	1	1.8	2	3.6	6	10.7	3	5.4
	全層・二段逆転	67	29.9	15	26.8	19	33.9	13	23.2	20	35.7

注1) 気温勾配が0.1℃/100m以上の場合逆転とした。

注2) 逆転層は、50m毎の気温勾配から判定し、層厚が50m以上の場合を対象とした。

注3) 逆転層の区分は、図5-1-10に示すとおり、逆転層が指定高度(100m)より低い場合を下層逆転、指定高度をまたぐ場合を全層逆転、指定高度より高い場合を上層逆転、指定高度の上下にある場合を二段逆転とし、下層、上層、全層・二段逆転の順に集計した。

注4) 上限高度(400m)より高い高度において観測された逆転層は「逆転なし」に区分した。

注5) 昼夜の時間区分は、表5-1-23に示すとおりである。

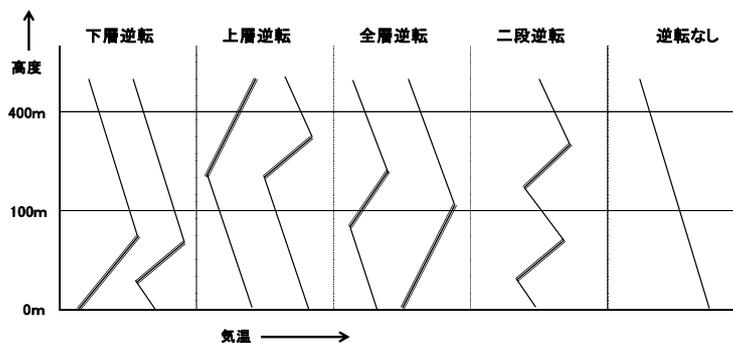
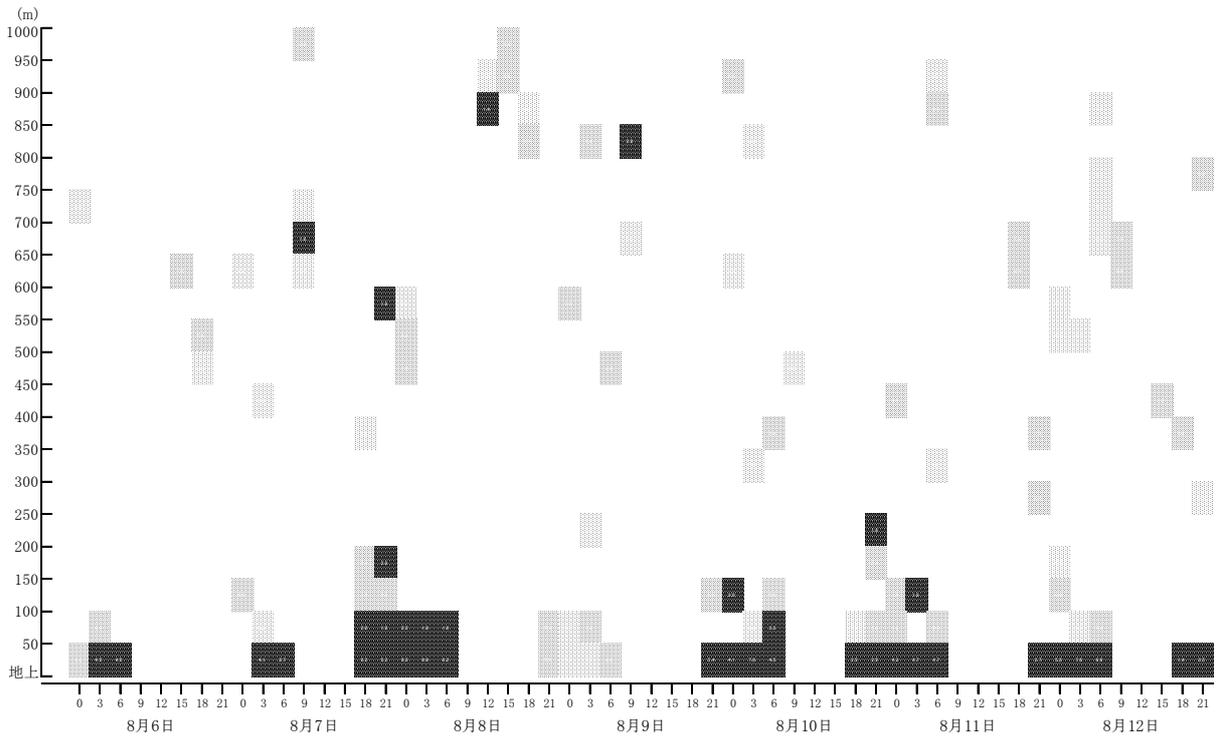
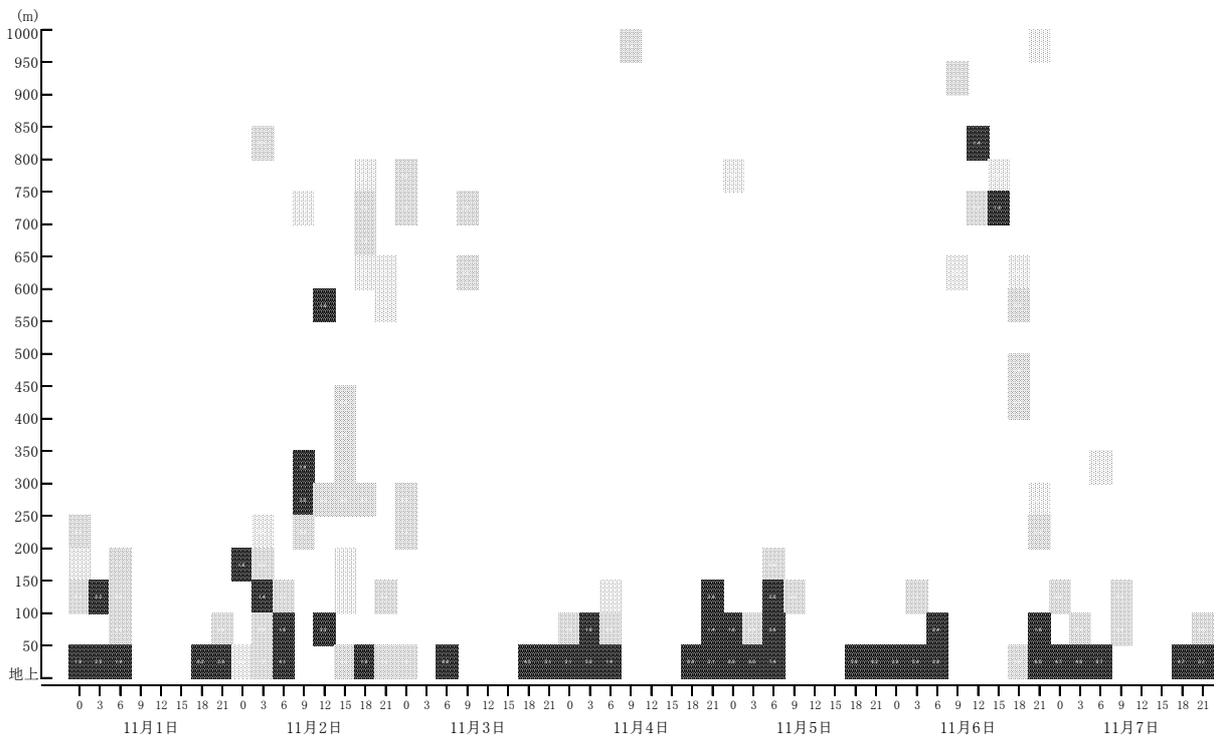


図 5-1-10 逆転層の区分

夏季



秋季



凡例

$0 < \Gamma \leq 0.2$

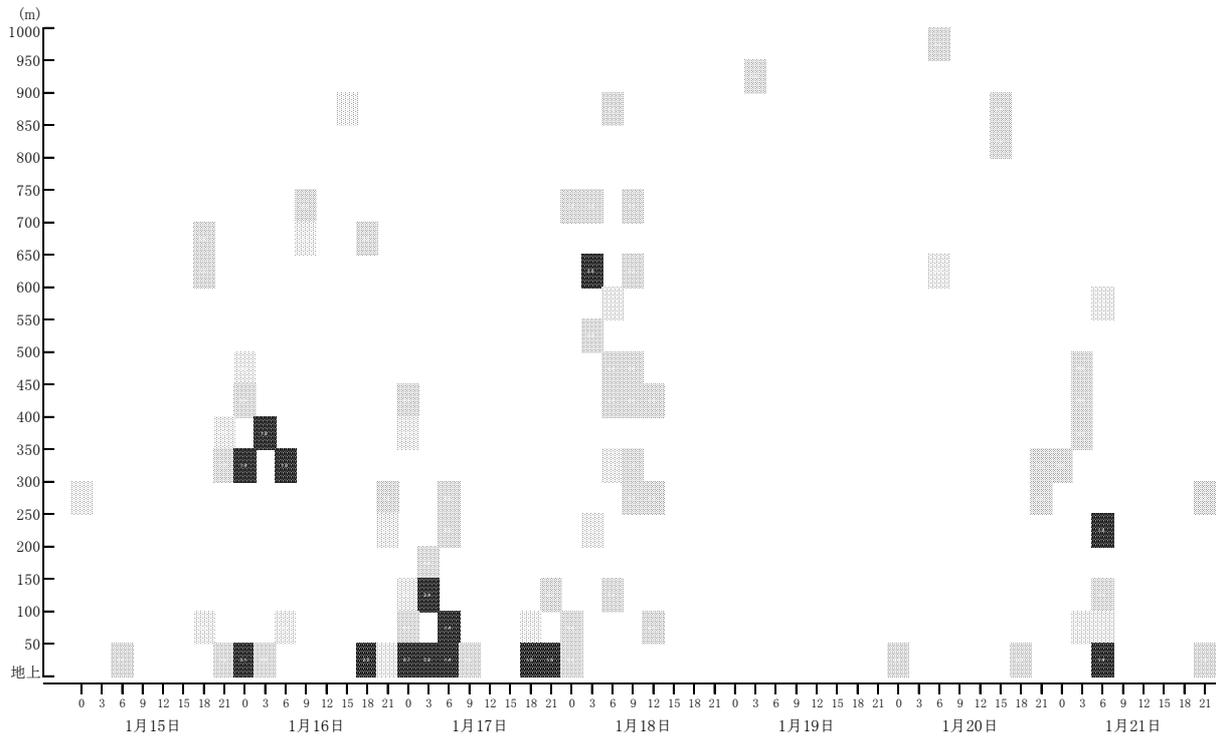
$0.2 < \Gamma \leq 1.2$

$1.2 < \Gamma$

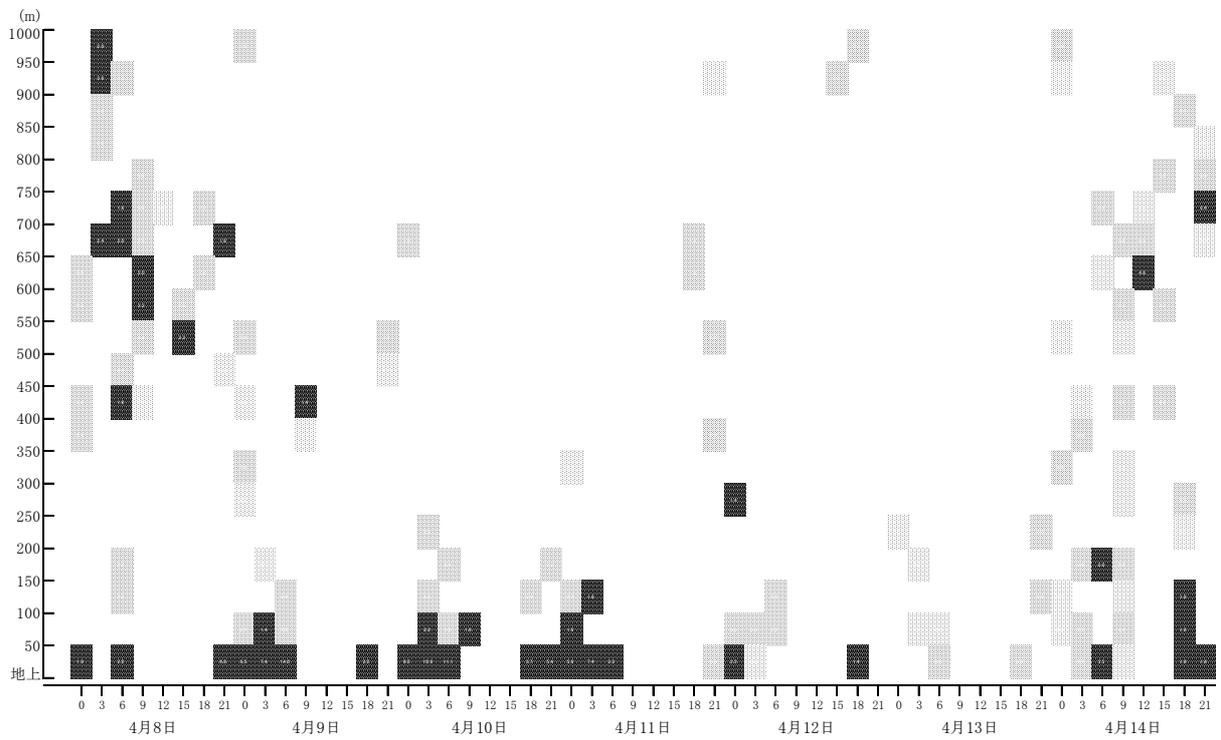
Γ : 氣溫勾配 ($^{\circ}\text{C}/100\text{m}$)

圖 5-1-11(1) 逆轉層出現狀況

冬季



春季



凡例

□ : 0 < Γ ≤ 0.2

▒ : 0.2 < Γ ≤ 1.2

■ : 1.2 < Γ

Γ : 气温勾配 (°C/100m)

图 5-1-11(2) 逆転層出現状況

④大気汚染の発生源の分布状況

対象事業実施区域周辺の大気汚染の特定施設のうち、ばい煙発生施設をみると、対象事業実施区域の南東方向の約 2.5 km に病院関係の施設に加えて、これよりやや距離をおいて約 4.5 km に中規模の工作機器等の製造工場が立地している。いずれも、大規模な発生源でなく、対象事業実施区域より距離を置いており、対象事業実施区域まで影響を及ぼすような施設ではない。

粉じん発生施設では、対象事業実施区域の東方向の約 1.3 km に青谷残土処分場が、西約 2.2 km に碎石場の選別プラントの設備群が立地している。また、北北西 2.5 km に製材工場が立地している。いずれも、対象事業実施区域より距離を置いており、対象事業実施区域まで影響を及ぼすような施設ではない。

対象事業実施区域内には、大気汚染の発生源となる施設は、存在しない。

1-2-2. 沿道大気

(1) 調査項目

①大気質の状況

二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん

②地上気象の状況

風向・風速

③道路構造及び交通量の状況

④大気汚染の発生源の分布状況

(2) 調査地域

対象事業実施区域及びその周辺

(3) 調査地点

①大気質

調査地点は、工事用車両及び施設関連車両の主要な走行ルートに沿道で、集落等の分布状況を考慮した4地点（TD-1～TD-4）とした。

調査地点及び調査項目は、表 5-1-28 に示すとおりである。また、調査地点は図 5-1-12 に示すとおりである。

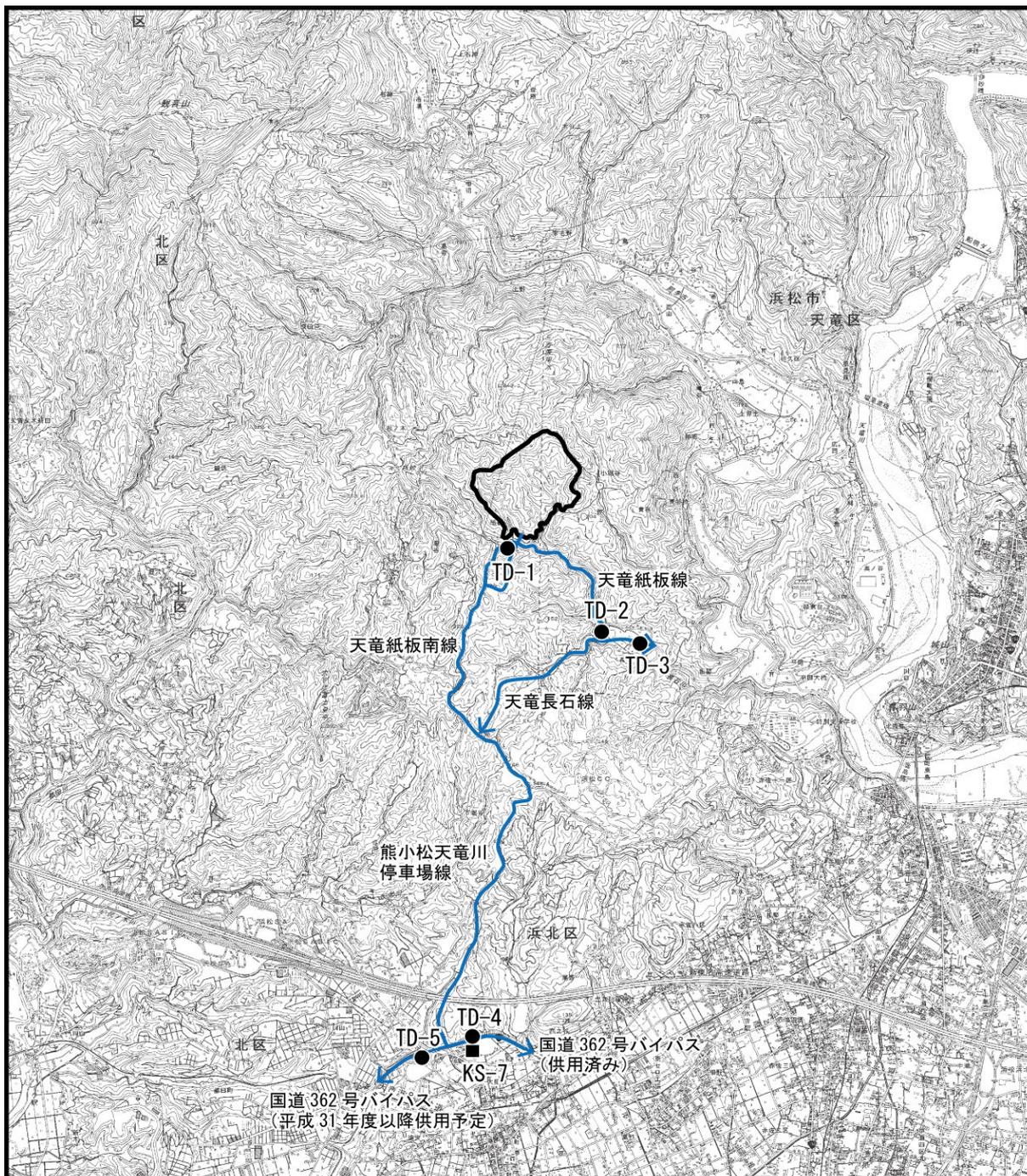
②地上気象

調査地点は、工事用車両及び施設関連車両の主要な走行ルートに沿道で、集落等の分布状況を考慮した1地点（KS-7）とした。

調査地点及び調査項目は、表 5-1-28 に示すとおりである。また、調査地点は図 5-1-12 に示すとおりである。

表 5-1-28 調査地点及び調査項目

調査地点	道路名	調査項目	
		大気質	地上気象
TD-1	市道天竜小堀谷紙板線	二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん	
TD-2	市道天竜紙板線	二酸化窒素、浮遊粒子状物質	
TD-3	市道天竜長石線	二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん	
TD-4、KS-7	国道 362 号バイパス		風向・風速



□ : 対象事業実施区域

● : 大気質 (沿道大気)、交通量

■ : 地上気象

← : 走行ルート

注) 国道362号バイパスへ分岐するルートのうち、西側ルートについては、平成31年度以降供用予定の道路を利用予定である。



0 0.5 1 2 km

図 5-1-12 調査地点 (沿道大気)

③道路構造及び交通量の状況

調査地点は、工事用車両及び施設関連車両の主要な走行ルートに沿って、集落等の分布状況を考慮した4地点（TD-1～TD-4）及び平成31年度以降供用予定の国道326号バイパスの整備前の現道のTD-5の計5地点とした。調査地点は、表5-1-29及び図5-1-12に示すとおりである。

表 5-1-29 調査地点

調査地点	道路名
TD-1	市道天竜小堀谷紙板線
TD-2	市道天竜紙板線
TD-3	市道天竜長石線
TD-4	国道362号バイパス
TD-5	国道362号バイパス (平成31年以降供用予定)

(4)調査期間

①大気質、地上気象

大気質の調査期間は、四季各7日間（粉じんは各1ヶ月間）とした。地上気象の調査期間は、1年間とした。

大気質及び地上気象の調査実施期間は、表5-1-30に示すとおりである。

表 5-1-30 調査実施期間

調査項目	調査時期	実施期間
大気質 (TD-1～TD-4)	夏季	平成27年8月6日(木)～8月12日(水) 平成27年8月5日(水)～9月5日(土) (粉じん)
	秋季	平成27年11月1日(日)～11月7日(土) 平成27年11月1日(日)～12月1日(火) (粉じん)
	冬季	平成28年1月15日(金)～1月21日(木) ^{注)} 平成28年1月14日(木)～2月13日(土) (粉じん)
	春季	平成28年4月8日(金)～4月14日(木) 平成28年4月8日(金)～5月8日(日) (粉じん)
地上気象 (TK-7)	通年	平成27年7月1日(木)～平成28年6月30日(木)

注) TD-2 地点については、浮遊粒子状物質測定装置が1月20日～21日にかけて機器動作不良により指示の異常が見られたため、23日まで調査を2日間延長した。

②交通量

1年間を通し、平均的な一般交通量の状況を代表する時期（平常時）及び周辺の人と自然の触れ合いの活動の場の利用に伴い一般交通量が増加することが想定される夏季の計2回実施した。調査時間は、平日と休日の各24時間とした。実施日及び時間は、表5-1-31に示すとおりである。

③道路構造の状況、発生源の分布状況

対象事業実施区域及びその周辺における1年間を通して平均的な状況を代表する時期に1回実施した。実施日は、表5-1-31に示すとおりである。

表 5-1-31 調査実施期間

調査項目	調査時期	実施期間	
交通量	平常時	平日	平成27年11月11日(水)6:00～11月12日(木)6:00
		休日	平成27年11月21日(土)22:00～11月22日(日)22:00
	夏季	平日	平成27年8月11日(火)6:00～8月12日(水)6:00
		休日	平成27年8月8日(土)22:00～8月9日(日)22:00
道路構造の状況 発生源の分布状況		平成28年8月18日(木)	

(5)調査方法

①大気質

大気質の調査方法は、表5-1-9に示すとおりである。

②地上気象

地上気象の調査方法は、表5-1-10に示すとおりである。

③交通量

交通量は、方向別に表5-1-32に示す3車種区分（大型車、小型車、自動二輪車）により、ハンドカウンターで1時間毎に計測した。

走行速度は、任意の区間を通過する時間をストップウォッチで1時間毎、原則10台計測した。

表 5-1-32 車種分類

車種区分	細分類	対応するナンバープレート番号等
小型車	軽自動車	ナンバープレートの塗色が黄地に黒文字（自家用） または黒地に黄文字（営業用）で分類番号が 50～59 のもの
	乗用車	分類番号が次のいずれかに該当するもの 1) 3、30～39 及び 300～399（普通乗用自動車） 2) 5、50～59 及び 500～599（小型四輪乗用自動車） 3) 7、70～79 及び 700～799（小型四輪乗用自動車）
	軽貨物車	ナンバープレートの塗色が黄地に黒文字（自家用） または黒地に黄文字（営業用）で分類番号が 40～49 のもの
	小型貨物車	分類番号が次のいずれかに該当するもの 1) 4、40～49 及び 400～499 （小型四輪貨物自動車、ただし貨客車を除く） 2) 6、60～69 及び 600～699 （小型四輪貨物自動車、ただし貨客車を除く）
	貨客車	分類番号が次のいずれかに該当するもののうち、いわゆるラ イトバン、ピックアップ、バンなどの型式で座席が 2 列以上 あるもの 1) 4、40～49 及び 400～499 2) 6、60～69 及び 600～699
大型車	バス	分類番号が 2、20～29 及び 200～299 のもの
	普通貨物車	分類番号が 1、10～19 及び 100～199 のもの
	特種(殊)車	分類番号が次のいずれかに該当するもの 1) 8、80～89 及び 800～899（特種用途車） 2) 9、90～99 及び 900～999（特殊自動車） 3) 0、00～09 及び 000～099（特殊自動車）
二輪車類	動力付二輪車	原動機付自転車を含む自動二輪車

注) 1: 特種用途車とは、緊急自動車、タンク車、撒水車、放送宣伝車、クレーン車等をいう。
2: 特殊自動車とは、キャタピラ車、ロードローラー、タイヤローラー、スタビライザー
などをいう。
3: 特種車には、改造前の大きさが乗用車や小型貨物車と同程度のものは含めない。

④道路構造の状況

道路構造の状況は、現地踏査により確認した。

⑤大気汚染の発生源の分布状況

住宅地図等により発生源の分布を確認し、現地踏査により確認した。

(6) 調査結果

①大気質

a 二酸化窒素

二酸化窒素の調査結果は、表 5-1-33 に示すとおりである。

各地点の四季の平均値は、0.002～0.009ppm を示し、各地点で環境基準値（日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下）を下回っていた。

表 5-1-33 二酸化窒素調査結果

調査地点	道路名	調査時期	期間平均値 (ppm)	1時間値 の最高値 (ppm)	日平均値			環境基準との 適合状況 適:○ 否:×
					最高値 (ppm)	0.04ppm以 上0.06ppm 以下の日数 (日)	0.06ppmを 超えた日数 (日)	
TD-1	市道天竜小 堀谷紙板線	夏季	0.004	0.013	0.005	0	0	○
		秋季	0.002	0.023	0.003	0	0	○
		冬季	0.002	0.006	0.004	0	0	○
		春季	0.004	0.017	0.005	0	0	○
		四季	0.003	0.023	0.005	0	0	—
TD-2	市道天竜 紙板線	夏季	0.003	0.009	0.004	0	0	○
		秋季	0.002	0.008	0.003	0	0	○
		冬季	0.002	0.004	0.003	0	0	○
		春季	0.004	0.013	0.005	0	0	○
		四季	0.003	0.013	0.005	0	0	—
TD-3	市道天竜 長石線	夏季	0.002	0.006	0.002	0	0	○
		秋季	0.002	0.009	0.004	0	0	○
		冬季	0.003	0.009	0.004	0	0	○
		春季	0.003	0.017	0.004	0	0	○
		四季	0.002	0.017	0.004	0	0	—
TD-4	国道362号 バイパス	夏季	0.006	0.015	0.007	0	0	○
		秋季	0.011	0.044	0.014	0	0	○
		冬季	0.009	0.035	0.012	0	0	○
		春季	0.012	0.037	0.016	0	0	○
		四季	0.009	0.044	0.016	0	0	—

b 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の調査結果は、表 5-1-34 に示すとおりである。

各地点の四季の平均値は、0.013～0.015mg/m³を示し、各地点で環境基準値（日平均値 0.10mg/m³、1時間値 0.20mg/m³）を下回っていた。

表 5-1-34 浮遊粒子状物質調査結果

調査地点	道路名	調査時期	期間平均値 (mg/m ³)	1時間値		日平均値		環境基準との 適合状況 適:○ 否:×
				最高値 (mg/m ³)	0.20mg/m ³ を 超えた時間数 (時間)	最高値 (mg/m ³)	0.10mg/m ³ を 超えた日数 (日)	
TD-1	市道天竜小堀谷紙板線	夏季	0.021	0.109	0	0.030	0	○
		秋季	0.013	0.060	0	0.019	0	○
		冬季	0.007	0.020	0	0.008	0	○
		春季	0.017	0.049	0	0.025	0	○
		四季	0.015	0.109	0	0.030	0	—
TD-2	市道天竜紙板線	夏季	0.022	0.061	0	0.030	0	○
		秋季	0.006	0.042	0	0.010	0	○
		冬季	0.005	0.024	0	0.008	0	○
		春季	0.017	0.050	0	0.023	0	○
		四季	0.013	0.061	0	0.030	0	—
TD-3	市道天竜長石線	夏季	0.022	0.085	0	0.033	0	○
		秋季	0.014	0.065	0	0.018	0	○
		冬季	0.005	0.022	0	0.009	0	○
		春季	0.016	0.057	0	0.023	0	○
		四季	0.014	0.085	0	0.033	0	—
TD-4	国道362号バイパス	夏季	0.022	0.088	0	0.030	0	○
		秋季	0.011	0.029	0	0.017	0	○
		冬季	0.007	0.020	0	0.009	0	○
		春季	0.011	0.032	0	0.017	0	○
		四季	0.013	0.088	0	0.030	0	—

c 粉じん等

粉じんの調査結果は、表 5-1-35 に示すとおりである。

各地点の四季の平均値は、2.70～4.96t/km²/30 日を示した。

表 5-1-35 粉じん調査結果

単位：t/km²/30日

調査地点	道路名	項目	夏季	秋季	冬季	春季	四季
TD-1	市道天竜小堀谷紙板線	降下ばいじん量	0.54	2.86	2.80	4.60	2.70
		溶解性物質	0.34	2.55	2.64	3.94	2.37
		不溶解性物質	0.20	0.31	0.16	0.66	0.33
TD-3	市道天竜長石線	降下ばいじん量	1.02	2.16	9.18	7.46	4.96
		溶解性物質	0.61	1.88	7.91	5.73	4.03
		不溶解性物質	0.41	0.28	1.27	1.73	0.92
TD-4	国道362号バイパス	降下ばいじん量	1.97	3.19	2.94	5.77	3.47
		溶解性物質	1.57	2.67	2.40	4.46	2.78
		不溶解性物質	0.40	0.52	0.54	1.31	0.69

②地上気象

a 風向・風速

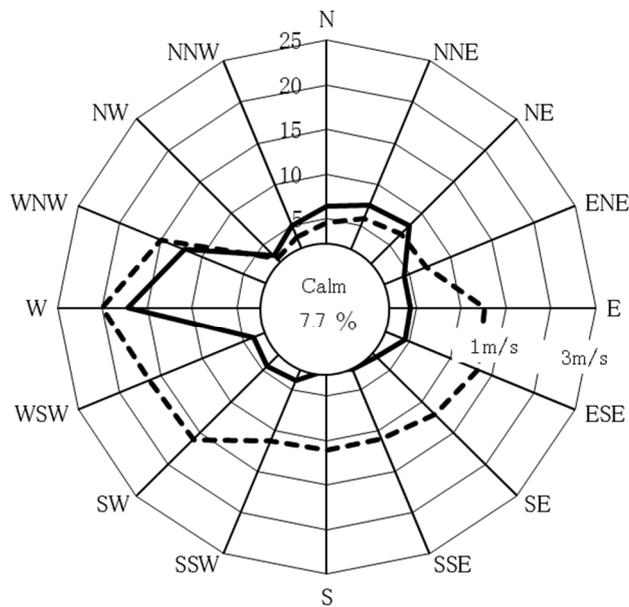
風向・風速の調査結果は、表 5-1-36 に示すとおりである。また、風配図及び風向別平均風速図は、図 5-1-13 に示すとおりである。

月別の最多風向は、7月はSW（南西）、8月はNE（北東）、9月はNNE（北北東）、3月はWNW（西北西）、その他の月はW（西）を示した。年間の最多風向は、W（西）であった。

月別の平均風速は、1.3～2.0m/sを示し、年間では1.6m/sであった。

表 5-1-36 地上気象調査結果

		風向・風速			
		平均 風速 (m/s)	最多 風向 (16方位)	最大	
				風速 (m/s)	風向 (16方位)
平成 27年	7月	1.4	SW	4.7	SW
	8月	1.4	NE	6.1	ESE
	9月	1.3	NNE	7.6	E
	10月	1.6	W	8.0	SW
	11月	1.3	W	5.2	WNW
	12月	1.7	W	6.3	SW
平成 28年	1月	2.0	W	7.0	W
	2月	1.9	W	5.5	W
	3月	1.6	WNW	5.5	W
	4月	1.8	W	5.5	W
	5月	1.6	W	6.0	WSW
	6月	1.4	W	4.8	W
年間		1.6	W	8.0	SW



Calmは風速0.4m/s以下を示す。

—— 風向出現頻度(%)
 - - - 平均風速(m/s)

図 5-1-13 風配図及び風向別平均風速図

③交通量

a 交通量

各地点の交通量は、表 5-1-37 に示すとおりである。

TD-1 及び TD-2 は 21～55 台/24h を示した。TD-3 は、平常時が 527～563 台/24h、夏季が 768～902 台/24h を示し、夏季の交通量が多かった。TD-4 は、平常時が 5,086～5,299/24h、夏季が 4,423～4,963 台/24h、TD-5 は平常時が 3,389～4,128 台/24h、夏季が 3,400～3,875 台/24h を示し、両地点とも平常時の交通量が多かった。

TD-1 及び TD-2 を除く大型車混入率は、TD-4 の平常時の平日が 13.0% と最も高かった。

b 走行速度

各地点の平均走行速度は、表 5-1-37 に示すとおりである。

TD-1 及び TD-2 は 10～20 km/h 台、TD-3～TD-5 は 30～50 km/h 台を示した。

表 5-1-37 交通量・走行速度調査結果

調査地点	道路名	調査時期		24時間交通量				大型車混入率 (%)	平均走行速度 (km/h)
				大型 (台)	小型 (台)	二輪 (台)	計 (台)		
TD-1	市道 天竜小堀谷 紙板線	平常時	平日	4	24	2	30	13.3	22
			休日	0	55	0	55	0.0	21
		夏季	平日	0	33	2	35	0.0	21
			休日	0	28	2	30	0.0	20
TD-2	市道天竜 紙板線	平常時	平日	0	21	2	23	0.0	18
			休日	0	21	1	22	0.0	19
		夏季	平日	0	20	2	22	0.0	22
			休日	0	19	2	21	0.0	20
TD-3	市道天竜 長石線	平常時	平日	48	498	17	563	8.5	45
			休日	3	392	132	527	0.6	51
		夏季	平日	36	671	61	768	4.7	49
			休日	14	786	102	902	1.6	51
TD-4	国道362号 バイパス	平常時	平日	690	4,512	97	5,299	13.0	50
			休日	86	4,779	221	5,086	1.7	35
		夏季	平日	500	4,309	154	4,963	10.1	46
			休日	69	4,115	239	4,423	1.6	41
TD-5	国道362号 バイパス (供用前)	平常時	平日	270	3,767	91	4,128	6.5	40
			休日	38	3,264	87	3,389	1.1	41
		夏季	平日	251	3,529	95	3,875	6.5	44
			休日	30	3,271	99	3,400	0.9	38

④道路構造の状況

各地点の道路構造は、TD-1～5 のいずれも平面道路で、アスファルト舗装が敷設されている。道路断面図は、図 5-1-14 に示すとおり、TD-1～2 及び TD-5 が幅員 3～4 m 程度の道路で、歩道は確保されていない。TD-1～2 が市道、TD-5 が国道 362 号バイパスの供用前の道路となっている。TD-3～4 は、車道幅員の 5～6 m の 2 車線の道路で歩道が確保されている。TD-3 が市道、TD-4 が国道 362 号バイパスとなっている。

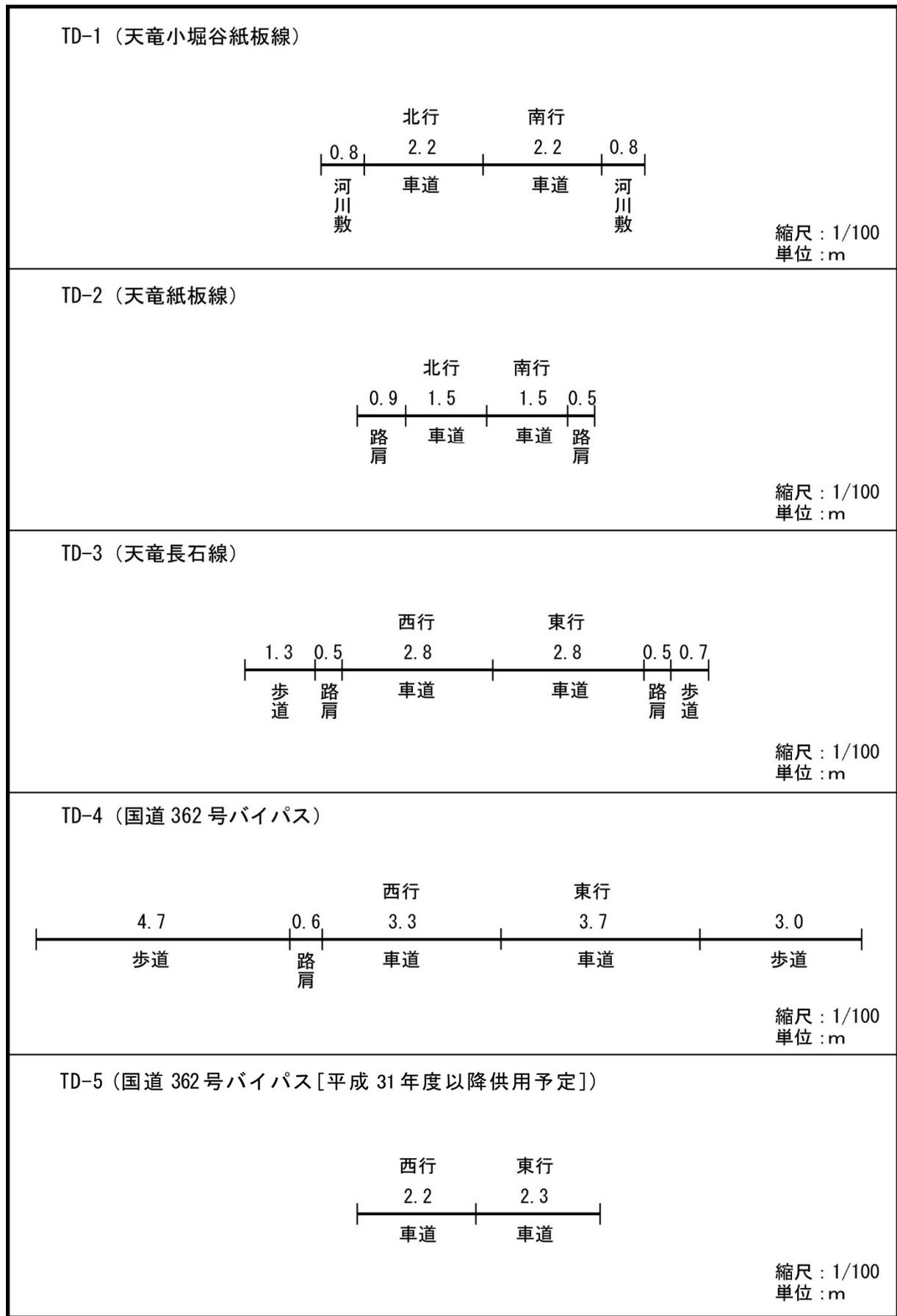


図 5-1-14 各地点の道路断面図

⑤大気汚染の発生源の分布状況

大気汚染の移動発生源は、車両の走行が主となるため、周辺の道路状況をみると、新東名高速道路が対象事業実施区域の南約 3.7 kmを東西方向に縦断している。国道では、国道 152 号及び国道 362 号が対象事業実施区域の 3.8 km南南東付近をいずれも東西方向に縦断している。

対象事業実施区域に最も近い幹線道路は、県道熊小松天竜川停車場線及び主要地方道天竜東栄線であり、対象事業実施区域からの車両は、天竜小堀谷紙板線及び天竜紙板南線を経て県道熊小松天竜川停車場線に、天竜長石線を経て主要地方道天竜東栄線に接続している。